

生涯学習に関する世論調査

説明資料

平成30年8月
文部科学省生涯学習政策局

※本資料は内閣府の実施した「生涯学習に関する世論調査」の結果について文部科学省においてクロス統計結果等を分析・グラフ化するなどしたもの。データ等の詳細は以下の内閣府HPで公開されている。
<https://survey.gov-online.go.jp/h30/h30-gakushu/index.html>

「生涯学習に関する世論調査」の概要

実施主体 内閣府政府広報室

調査対象 全国18歳以上の日本国籍を有する者 3,000人
有効回収数1,710人（回収率 57.0%）

調査期間 平成30年6月28日 ～ 7月8日(調査員による個別面接聴取)

調査目的 生涯学習に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。

調査項目 1 生涯学習の状況などについて
2 大学などにおける社会人の学習に関する考え方について
3 地域や社会での活動に対する考え方について

調査実績 「生涯教育に関する世論調査」
・昭和54年 2月（5,000人、15歳以上）

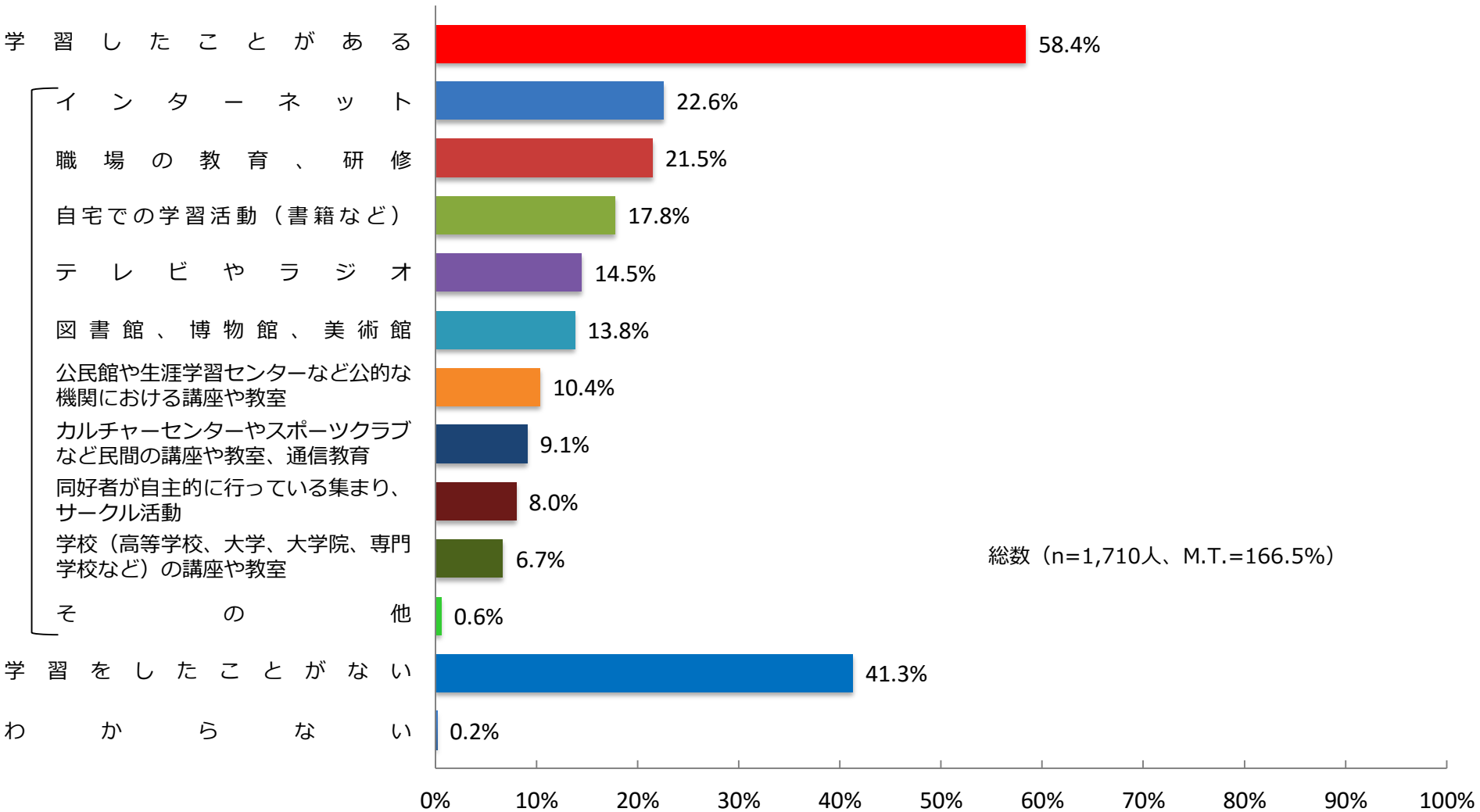
「生涯学習に関する世論調査」
・昭和63年 9月（5,000人、20歳以上）
・平成 4年 2月（3,000人、20歳以上）
・11年12月（5,000人、20歳以上）
・17年 5月（5,000人、15歳以上）
・20年 5月（3,000人、20歳以上）
・24年7月（3,000人、20歳以上）

「教育・生涯学習に関する世論調査」
・平成27年12月（3,000人、20歳以上）

1 生涯学習の状況などについて

(1) この1年間の学習の形式（問1関係）（1）

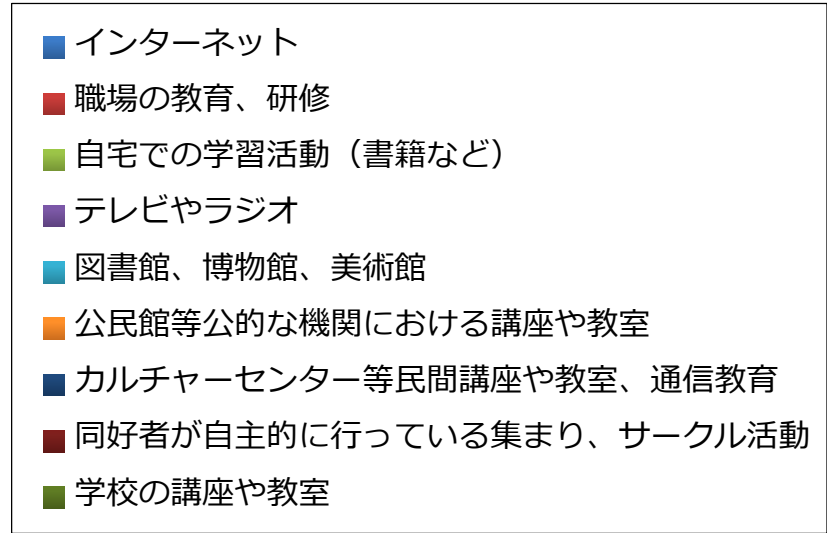
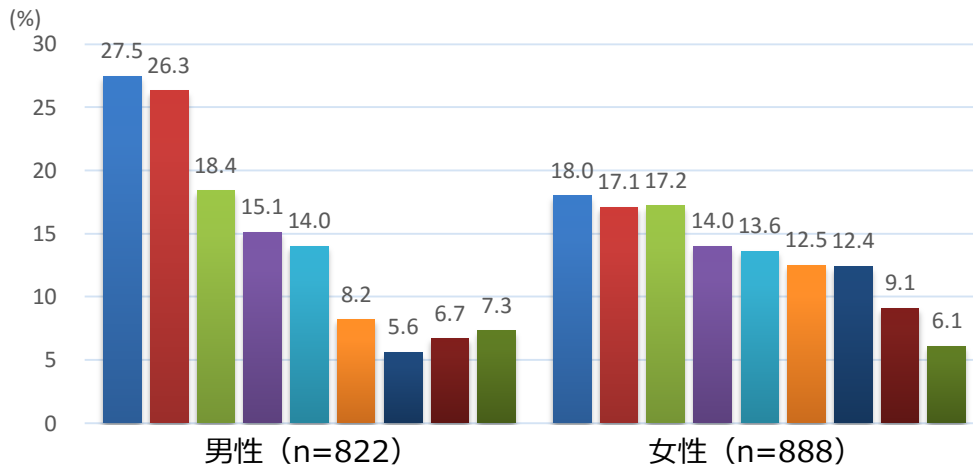
問1 あなたは、この1年間くらいの間、どのような場所や形態で学習をしたことがありますか。この中からいくつでもあげてください。（複数回答）



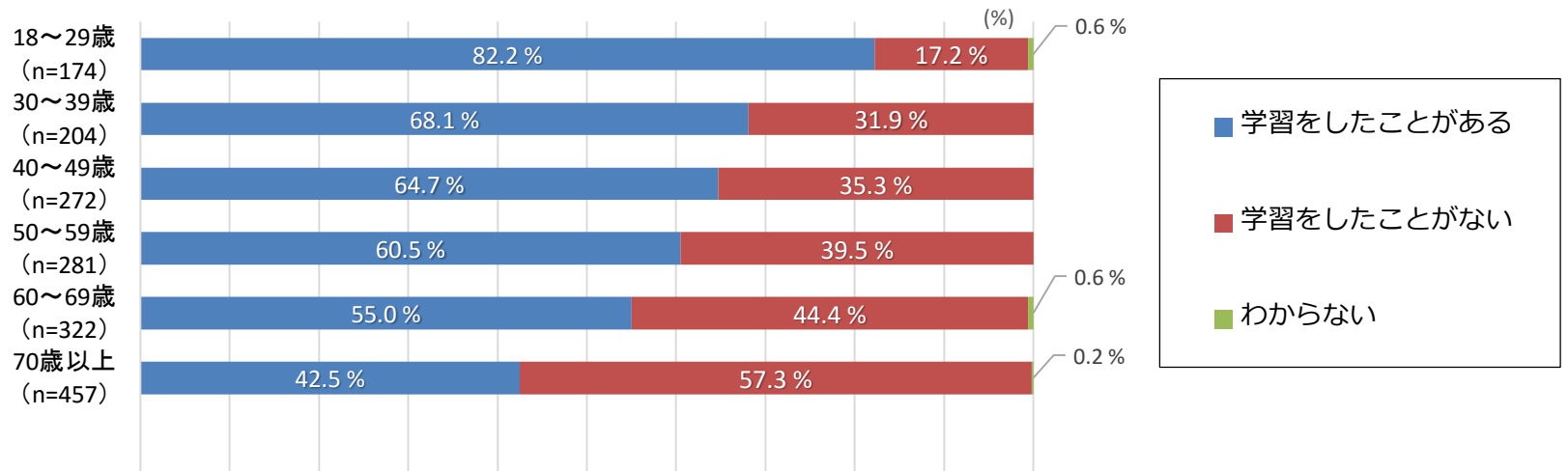
(1) この1年間の学習の形式 (問1関係) (2)

○この1年間の間に学習したことがあると回答した方の学習の形式(複数選択)について、男女とも「インターネット」の回答が最も多いが、特に男性においては「インターネット」及び「職場の教育、研修」の回答が顕著に多い。
 ○この1年間の間に「学習をしたことがない」との回答は年代とともに増加。

(1)-1 男女別 この1年間の学習の形式



(1)-2 年代別 この1年間で「学習をしたことがある」「学習をしたことがない」

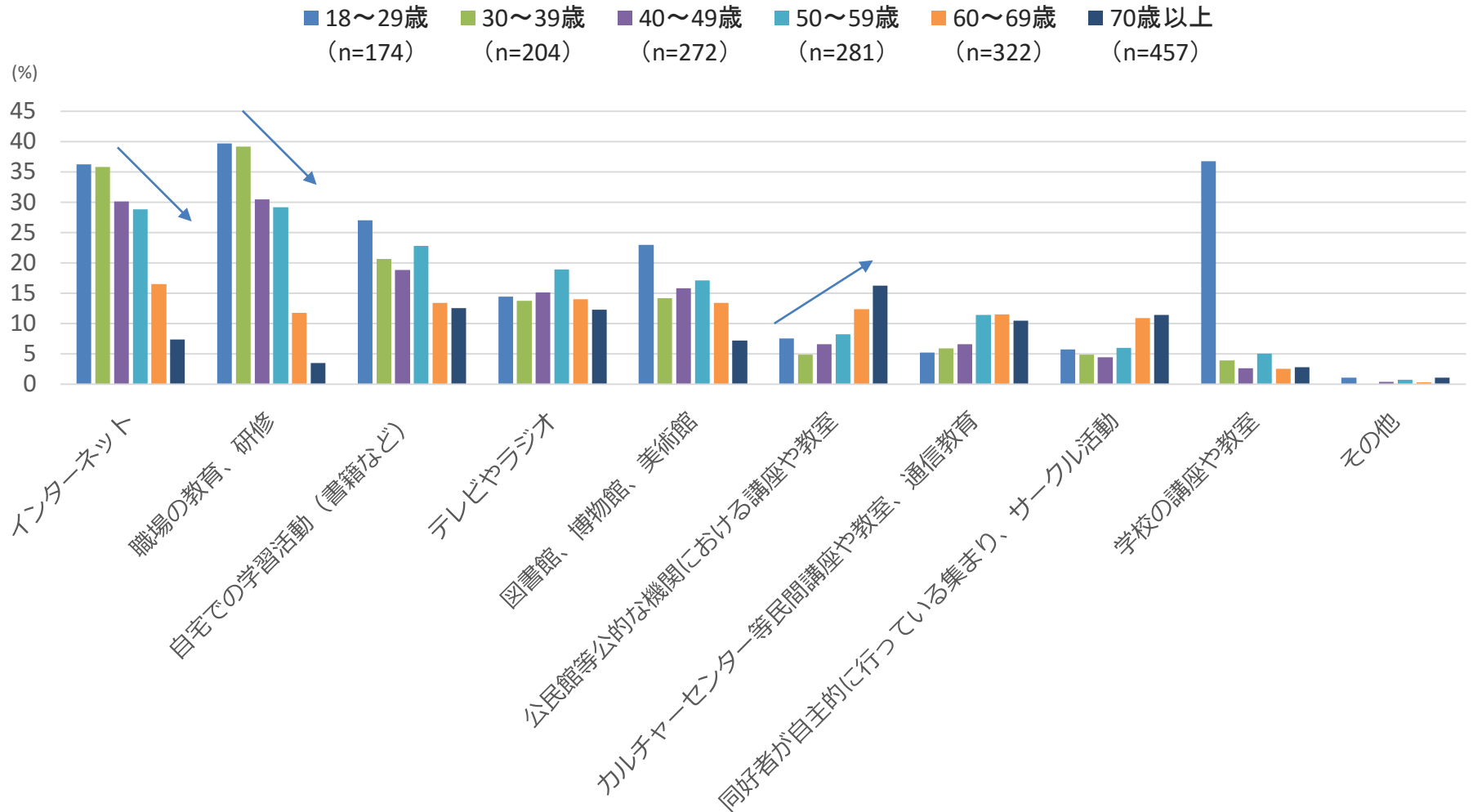


(1) この1年間の学習の形式 (問1関係) (3)

○学習したことがあると回答した方の学習の形式(複数選択)について、年代別で見ると、

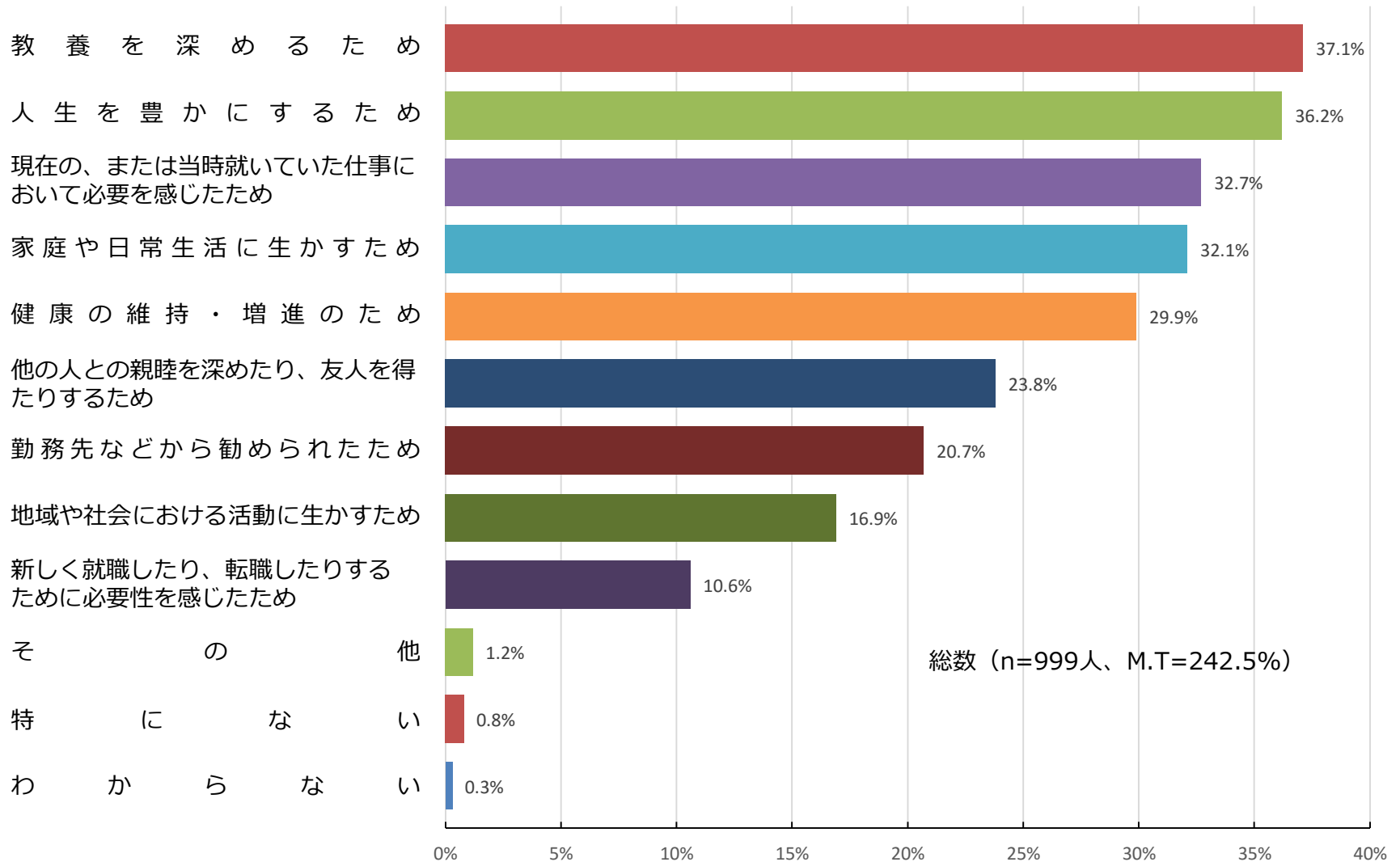
- ・「インターネット」や「職場の教育、研修」の回答は、年代とともに減少傾向。
- ・「公民館等公的な機関における講座や教室」等の回答は、年代とともに増加傾向。

(1)-3 年代別「この1年間の学習の形式」 ※「学習をしたことがない」の選択肢の年代別は前頁参照



(2) 学習をした理由 (問1更問1関係) (1)

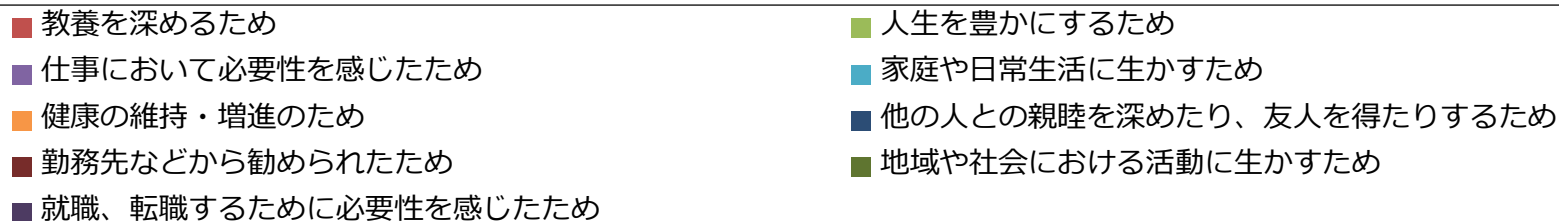
更問1 (問1で「学習したことがある(小計)」と答えた方(999人)に)
学習した理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)



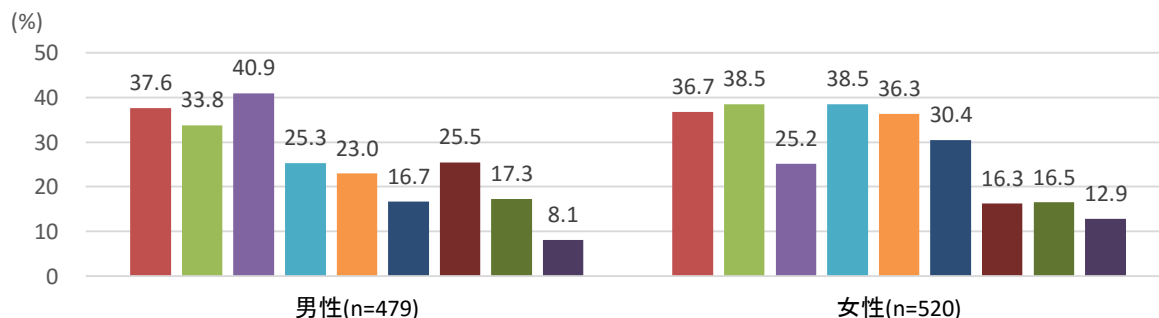
(2) 学習をした理由 (問1更問1関係) (2)

- ・ **学習した理由**として、男性では「仕事において必要性を感じたため」が最も多い(40.9%)。女性では「人生を豊かにするため」及び「家庭や日常生活に生かすため」が最も多い(38.5%)。
- ・ 年代別では、30代・40代・50代は「仕事において必要性を感じたため」が最も多い。「人生を豊かにするため」や「健康の維持・増進のため」、「他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため」などは年代があがるにつれて増加傾向。

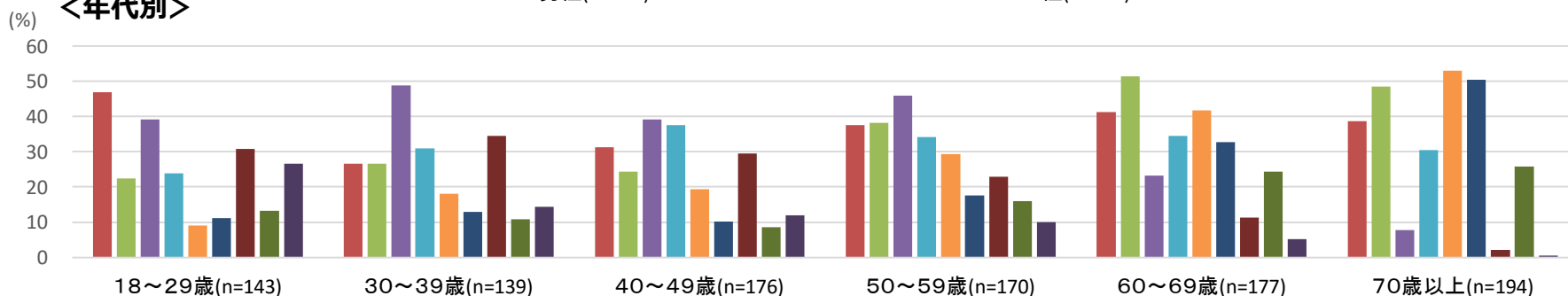
(2)-1 性別・年代別 学習をした理由



<男女別>

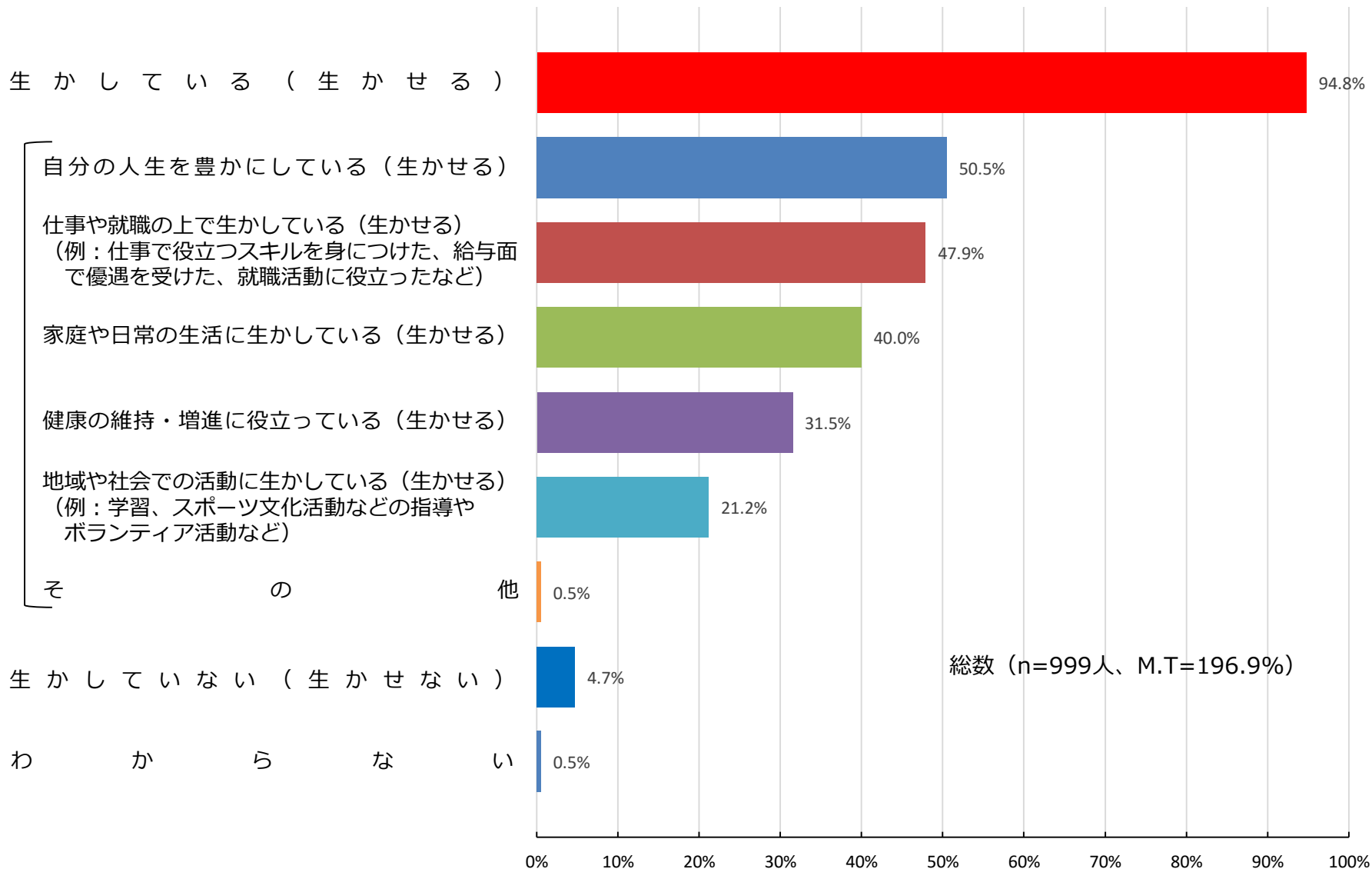


<年代別>



(3) 学習成果の活用状況 (問1更問2関係) (1)

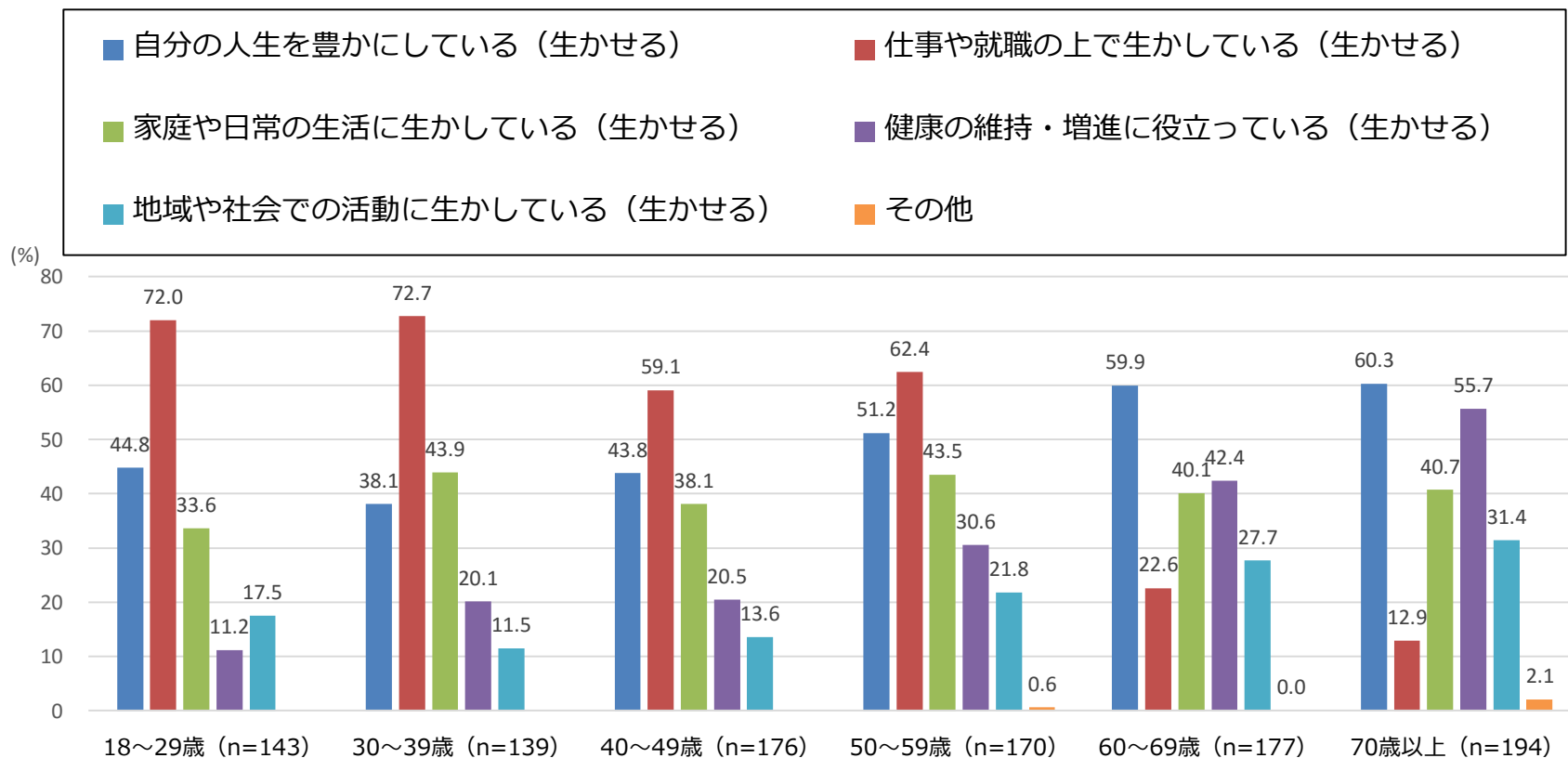
更問2 (問1で「学習したことがある(小計)」と答えた方(999人)に)
学習した成果をどのように生かしていますか。あるいは生かせると思いますか。
この中からいくつでもあげてください。(複数回答)



(3) 学習成果の活用状況（問1更問2関係）（2）

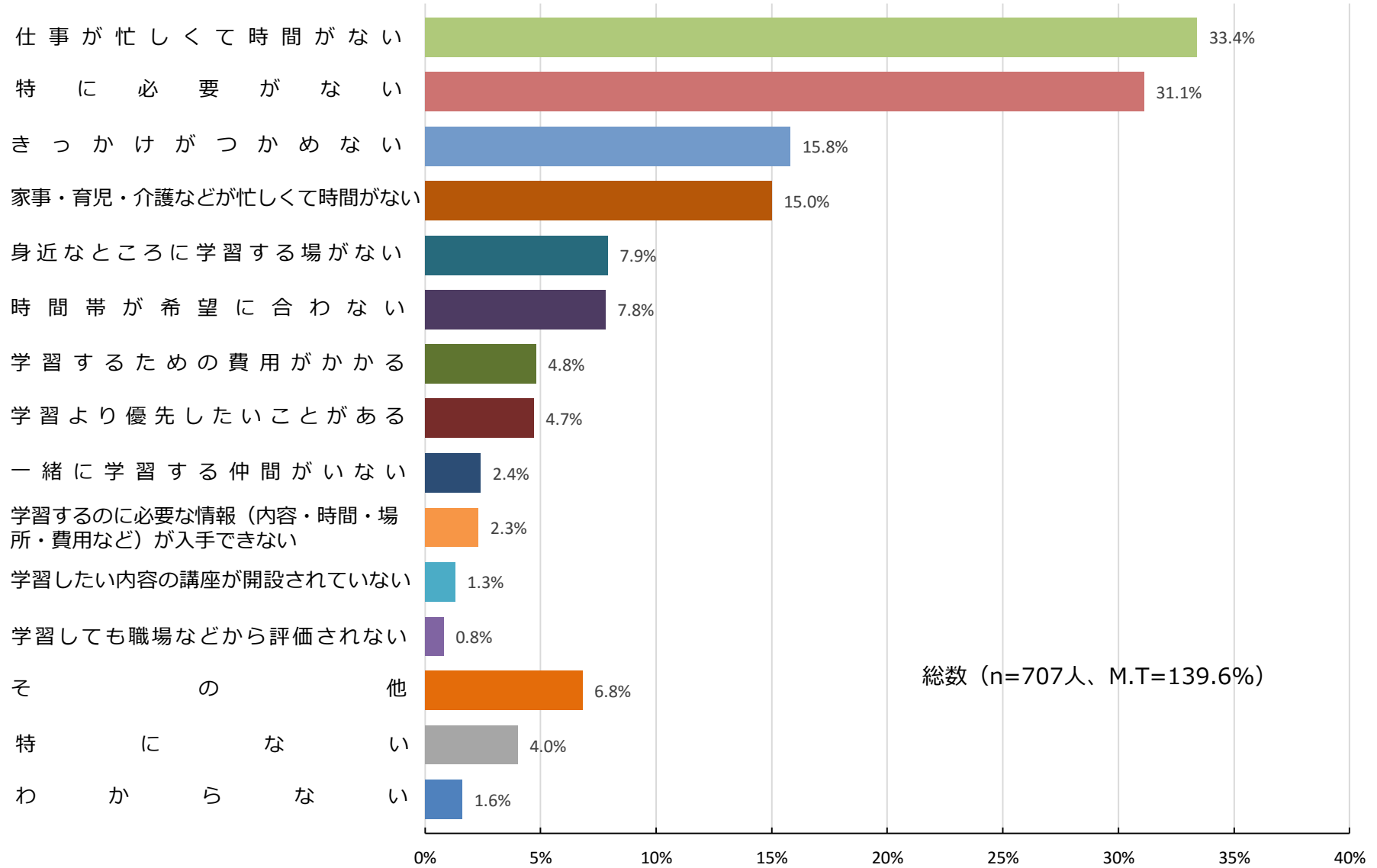
- 問1で学習したことがあると回答し、かつ、学習成果を「生かしている（生かせる）」と回答した方のうち、
- ・ 50代以下の各年代は、学習成果を「仕事や就職の上で生かしている（生かせる）」の回答割合が最大であり、各年代とも半数以上の方がこの選択肢を選択している。
 - ・ 「健康の維持・増進に役立っている（生かせる）」の回答や「地域や社会での活動に生かしている（生かせる）」の回答は、年代が上がるにつれて増加傾向。

(3)-1 年代別「学習成果の活用」



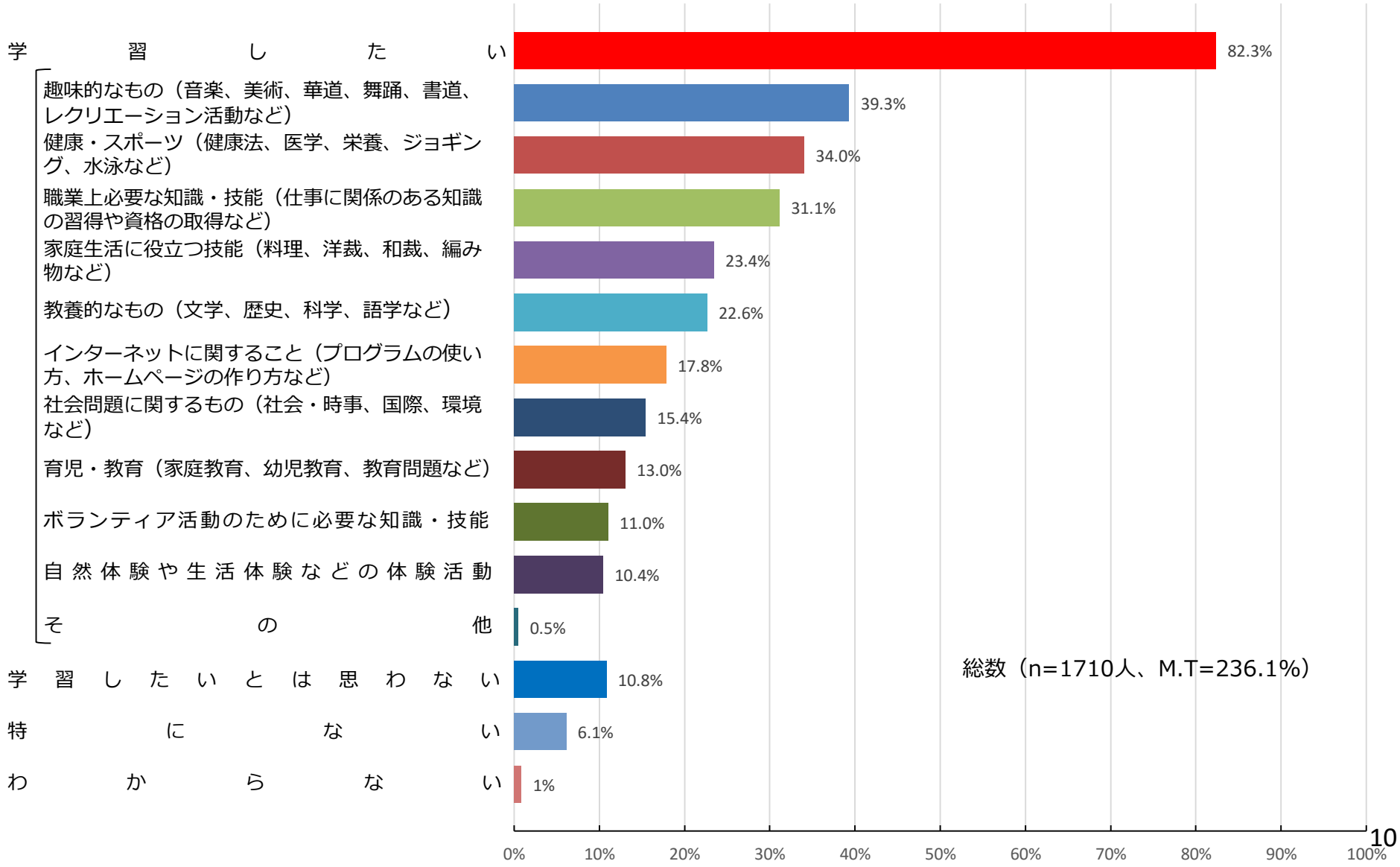
(4) 学習をしない理由 (問1更問3関係)

更問3 (問1で「学習をしたことがない」と答えた方(707人)に)
学習したことがない理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)



(5) 今後学習したい内容（問2関係）（1）

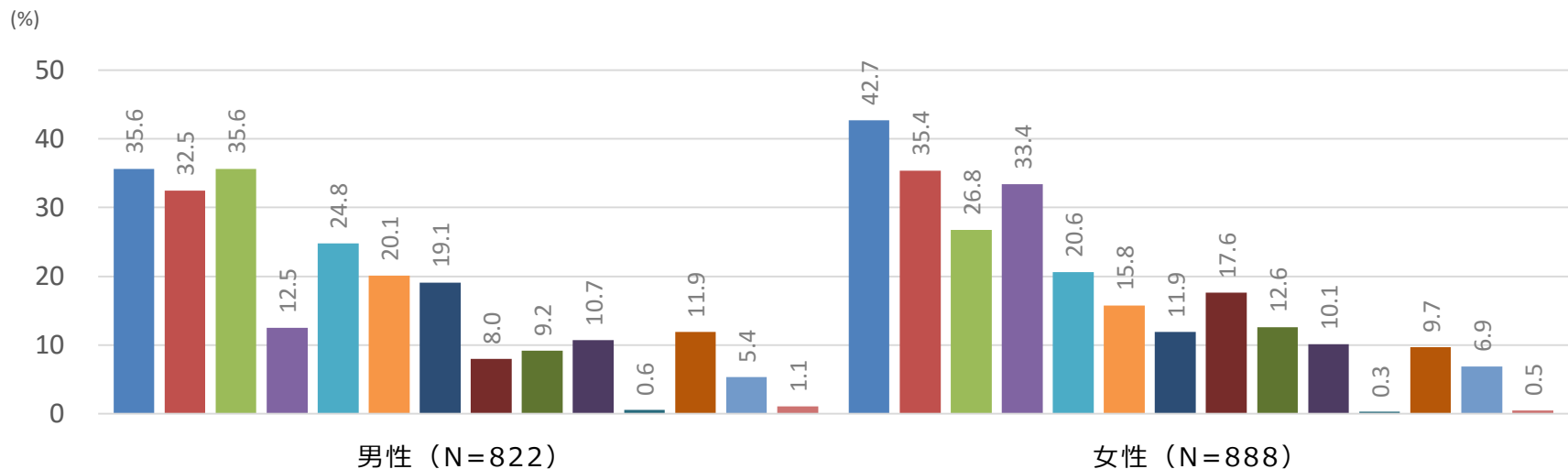
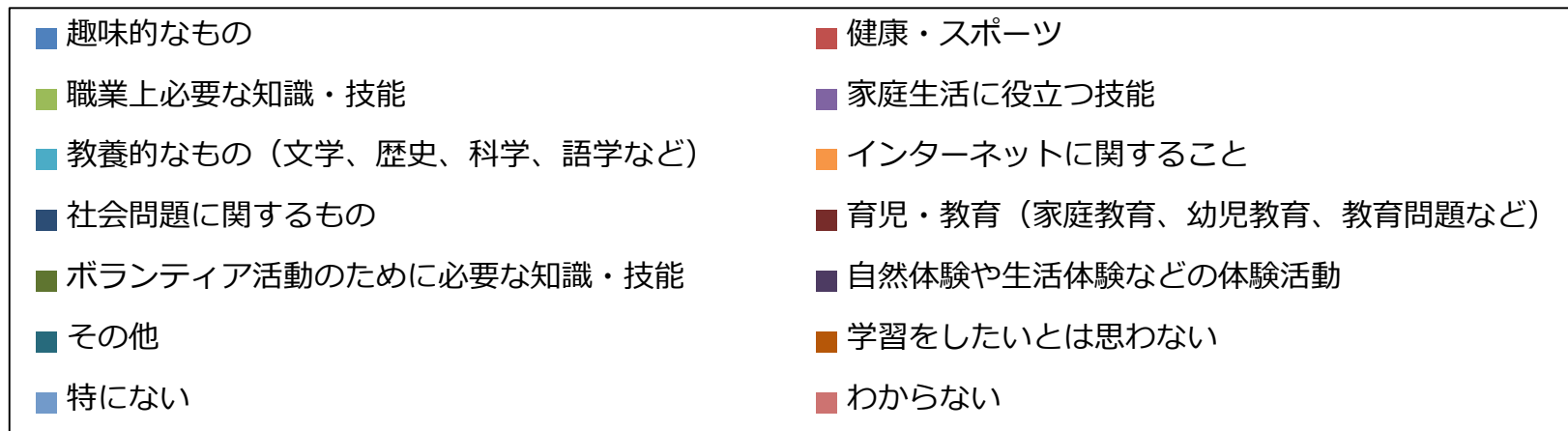
**問2 これから学習するとすればどのようなことを学習したいですか。
この中からいくつでもあげてください。（複数回答）**



(5) 今後学習したい内容（問2関係）（2）

- ・「趣味的なもの」「健康・スポーツ」の回答は男女とも上位。特に「趣味的なもの」は女性での回答が多い。
- ・「職業上必要な知識・技能」、「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）」の回答は男性に多い。
- ・「家庭生活に役立つ技能」は回答は女性において顕著に多い。

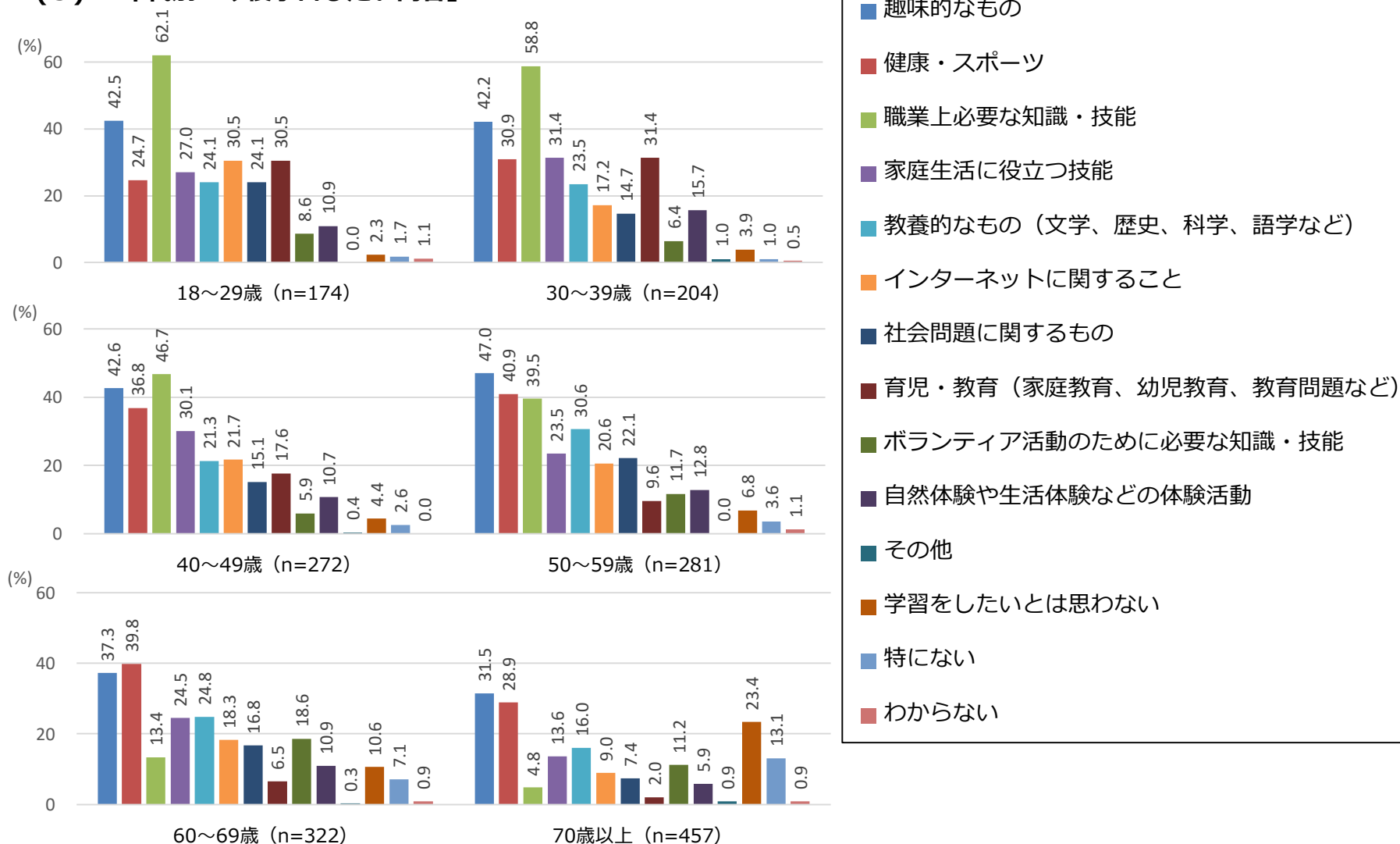
(5)-1 男女別「今後学習したい内容」



(5) 今後学習したい内容 (問2 関係) (3)

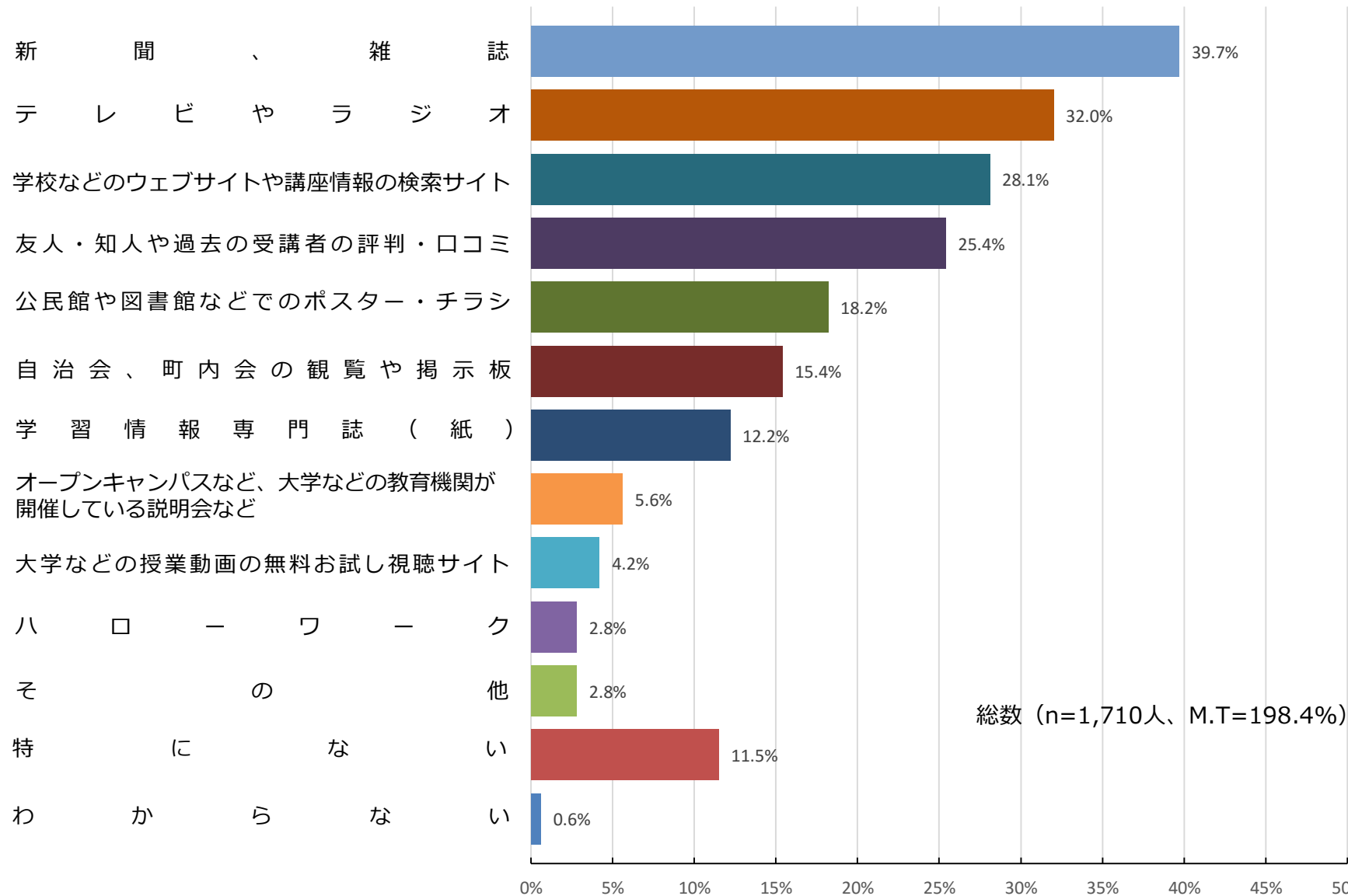
- ・今後学習したい内容を年代別に見ると、若い年代ほど「職業上必要な知識・技能」を挙げる割合が多く、30代までの年代では半数以上の方が選択
- 「趣味的なもの」や「健康・スポーツ」については概ね生涯を通じて関心が高い傾向
- 70歳以上では、「学習をしたいとは思わない」の割合が顕著に高い。

(5)-2 年代別「今後学習したい内容」



(6) 今後の情報収集の方法 (問3 関係)

問3 これから学習するとすれば、どこから情報収集を行いますか。
この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

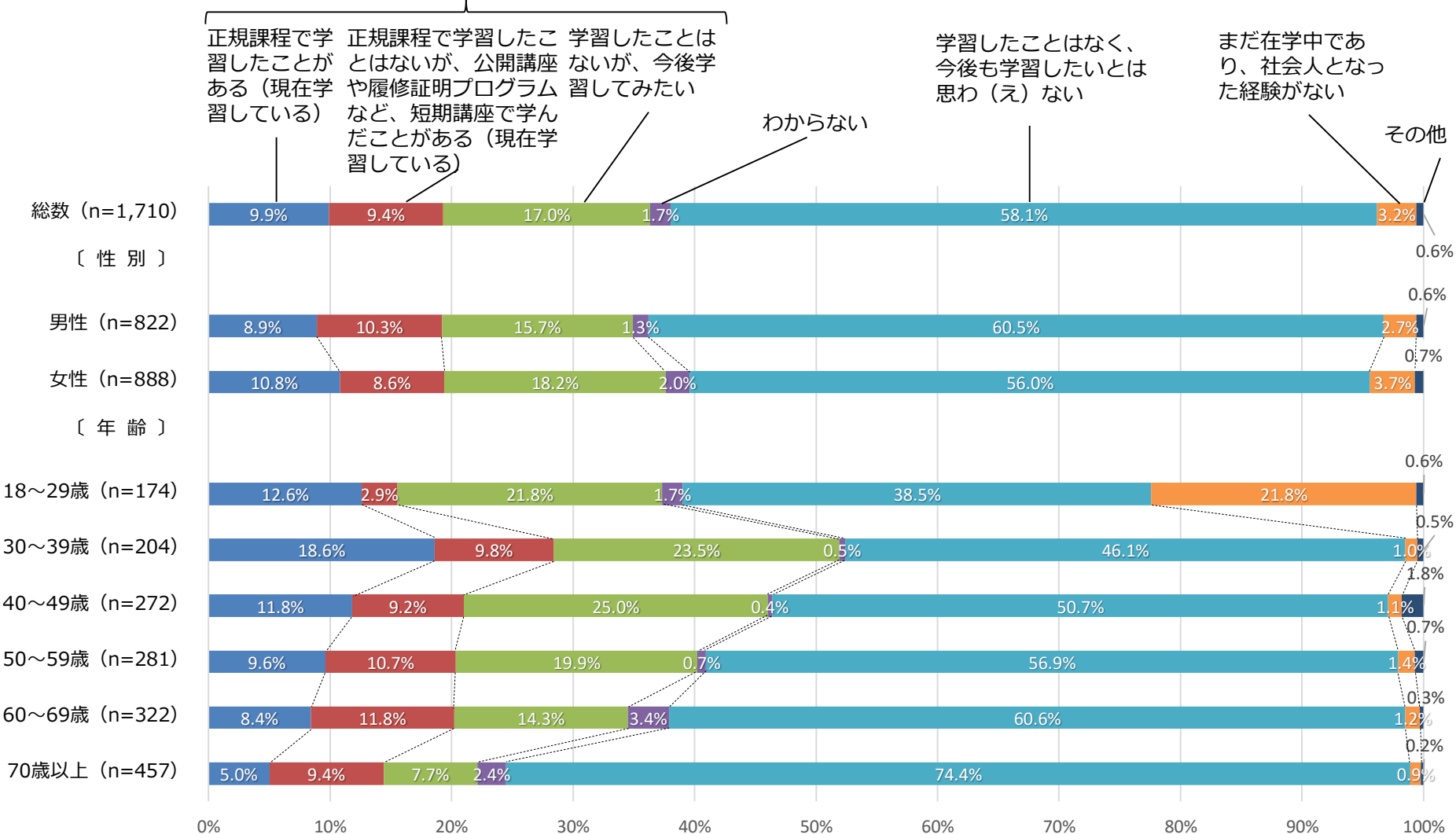


2 大学などにおける社会人の学習に関する考え方について

(7) 大学などにおける学習歴（問4関係）（1）

問4 あなたは、学校を出て一度社会人となった後に、大学、大学院、短大、専門学校などの学校において学習したことがありますか。この中から1つだけお答えください。なお、社会人には主婦（夫）や無職の方も含まれます。また、正規の課程に限らず短期プログラムや公開講座など、学習の形態は問いません。

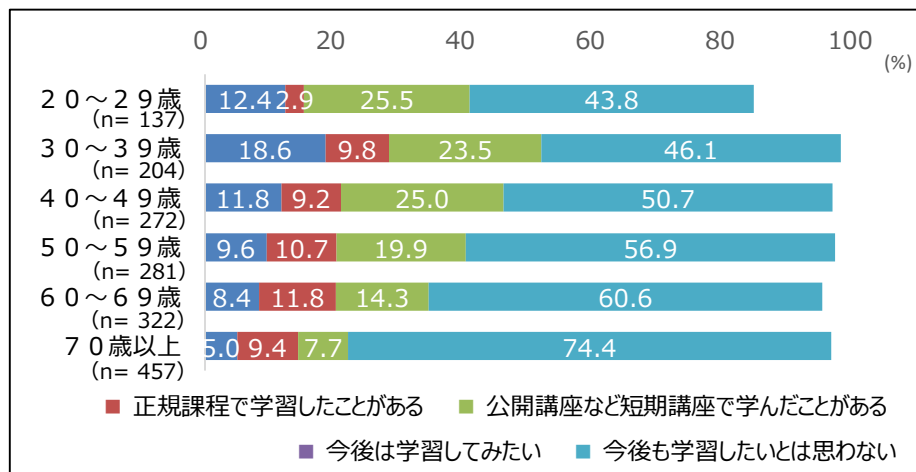
学習したことがある（現在学習している）、学習してみたい（小計）36.3%



(7) 大学などにおける学習歴 (問4関係) (2)

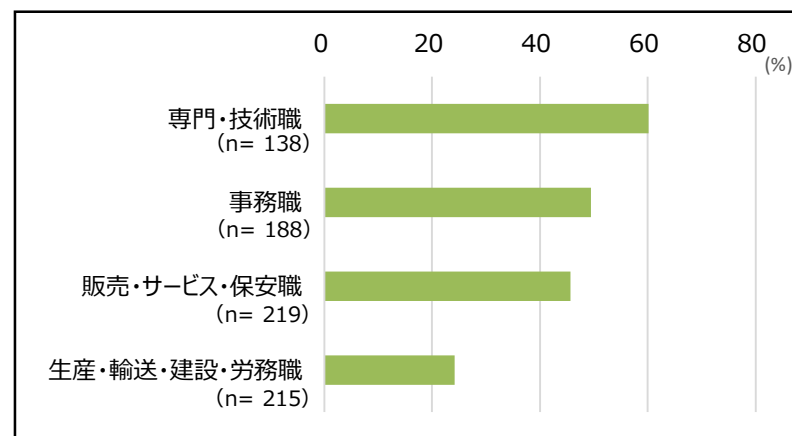
- ・大学などにおける学習歴は、30代では学習経験又は意欲を有する割合が5割を超える一方、年齢が高いほど今後の学習意欲について消極的な回答が多くなる傾向。
- ・自治体の規模別では、東京都区部とそれ以外とで、学習経験又は意欲を有する割合に10ポイント以上の開きがある。
- ・雇用者の職種別では、専門・技術職で学習経験を有する割合が高く、事務職で「今後は学習してみたい」との回答が多い。

(7)-1 年代別・男女別「大学などにおける学習歴」



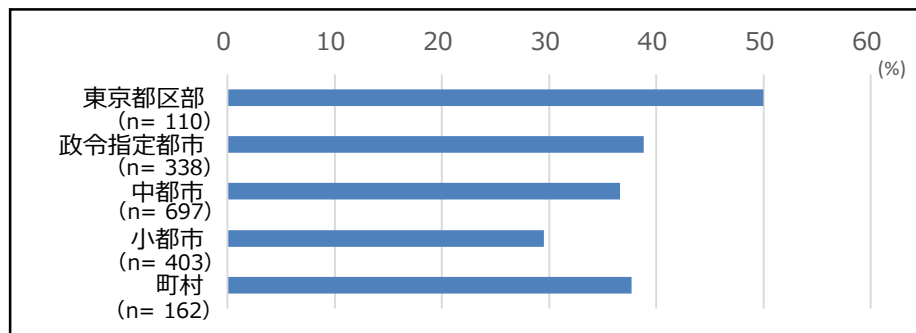
(7)-3 雇用者職種別「大学などにおける学習歴」

・「学習したことがある」「学習してみたい」の小計

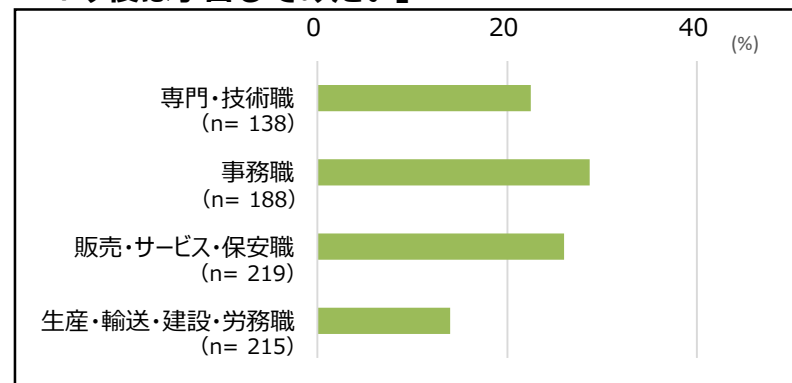


(7)-2 自治体規模別「大学などにおける学習歴」

(「学習したことがある」「今後学習してみたい」の小計)

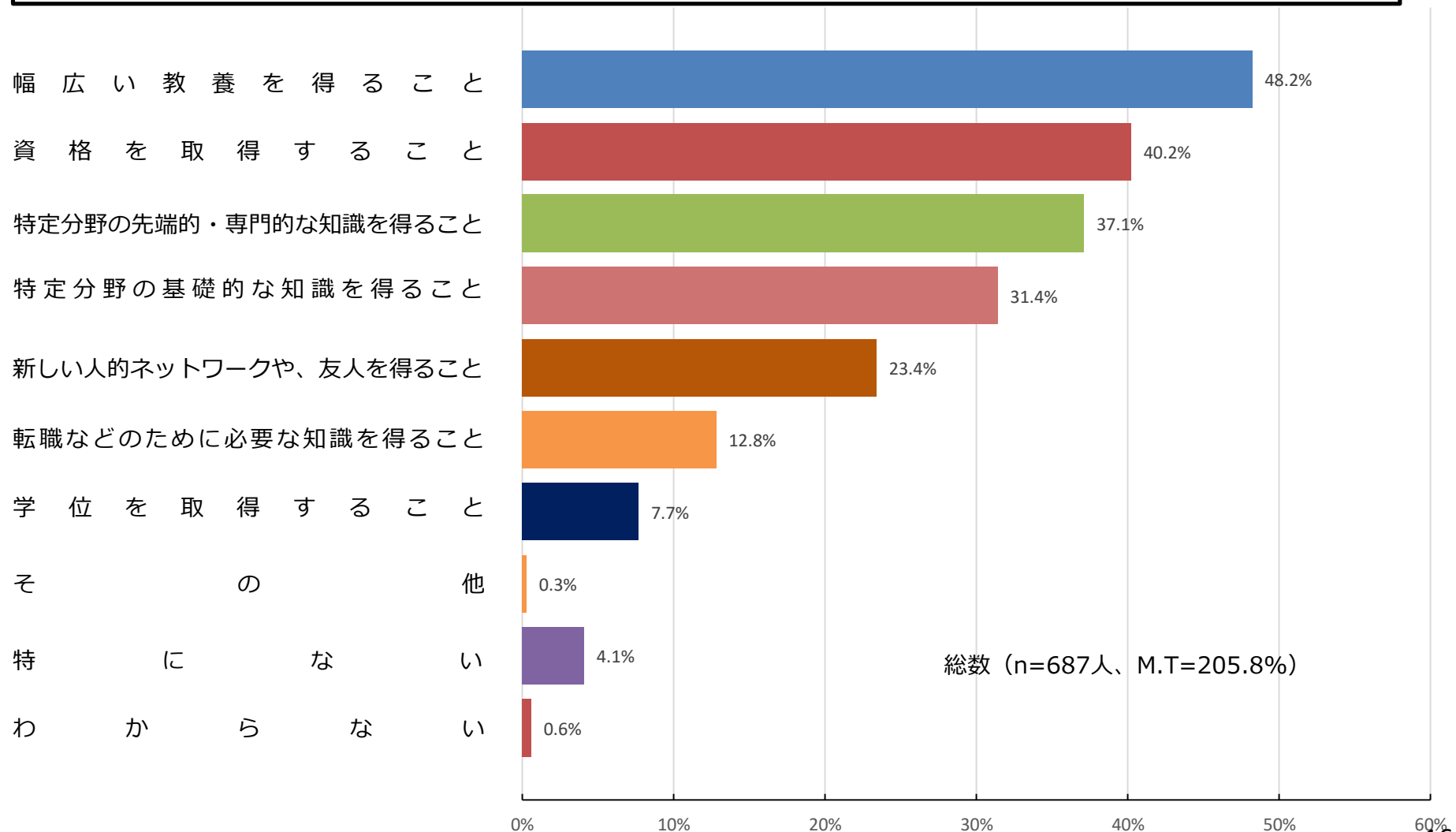


・「今後は学習してみたい」



(8) 大学などでの学習に期待する成果（問4更問1関係）（1）

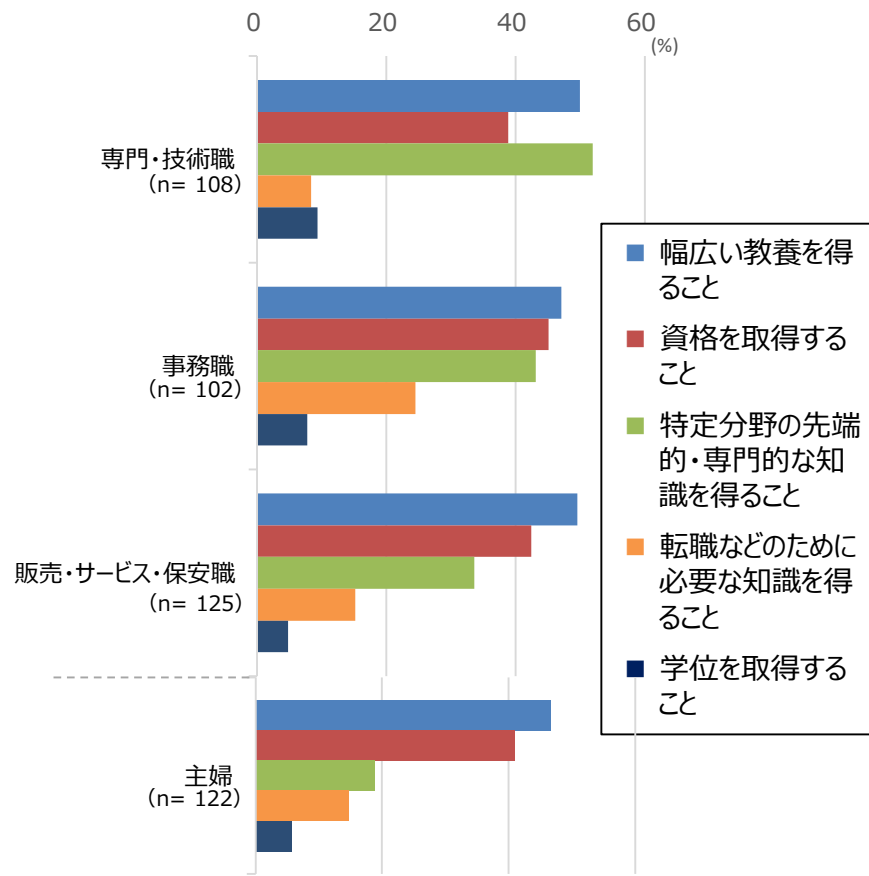
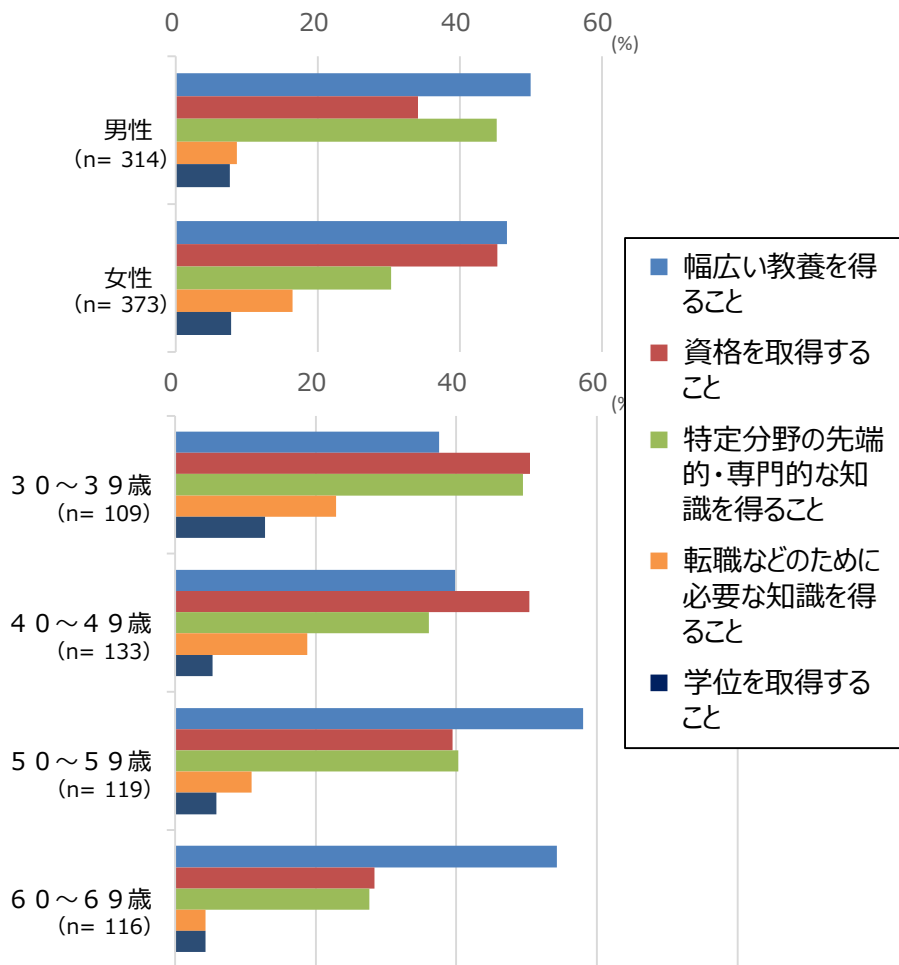
更問1（問4で「学習したことがあり（現在学習している）、学習してみたい（小計）」、「まだ在学中であり、社会人となった経験が無い」、「その他」と答えた方（687人）に）
これから社会人として大学などで学ぶとすれば、どのような成果を期待しますか。この中からいくつでもあげてください。（複数回答）



(8) 大学などでの学習に期待する成果 (問4更問1関係) (2)

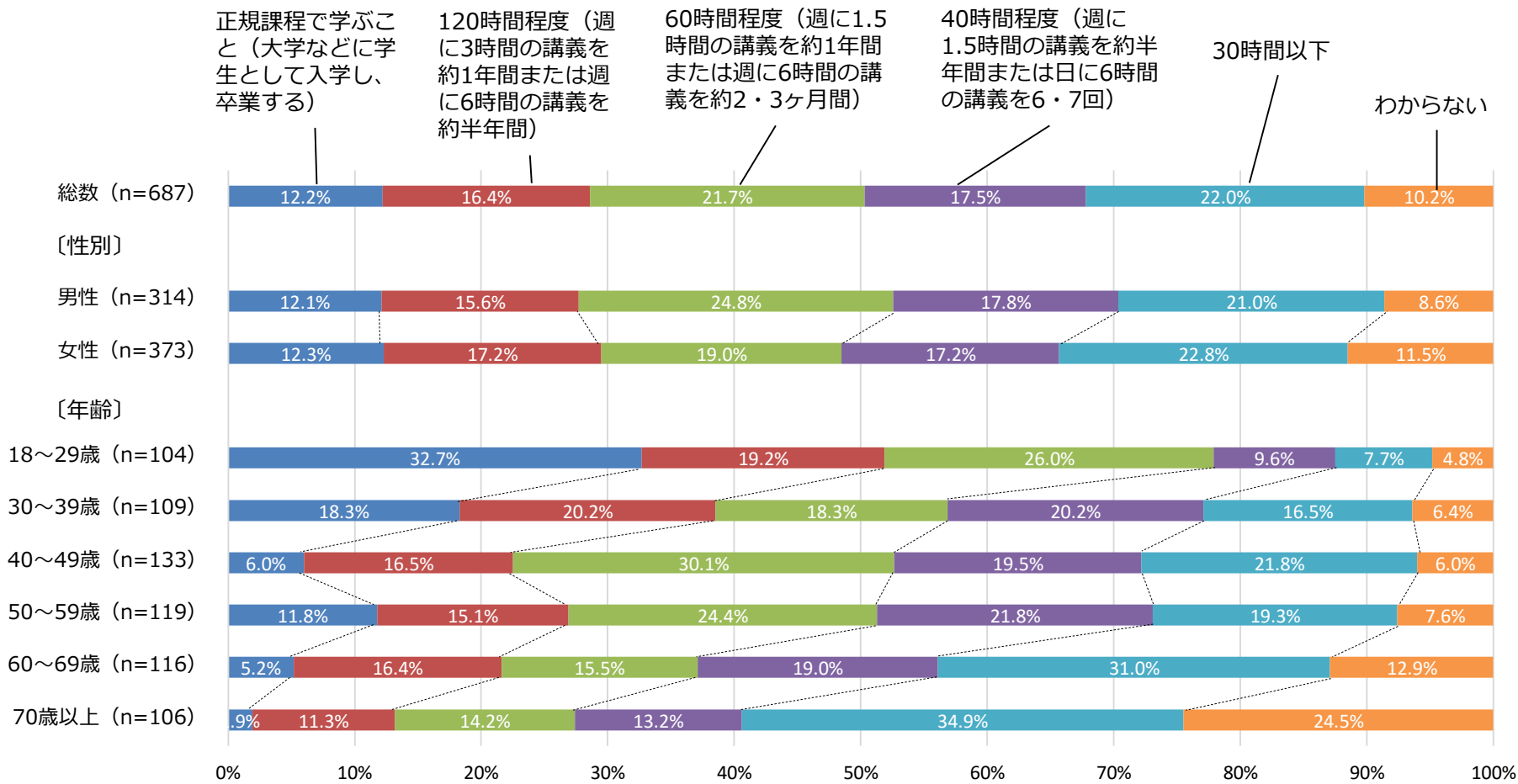
・大学などでの学習に期待する成果は、全体としては「幅広い教養」や「資格取得」が多いが、男性、30代、専門・技術職では「特定分野の先端的・専門的な知識」が多い。

(8)-1 男女別・年代別「大学などでの学習に期待する成果」 (8)-2 職種別「大学などでの学習に期待する成果」



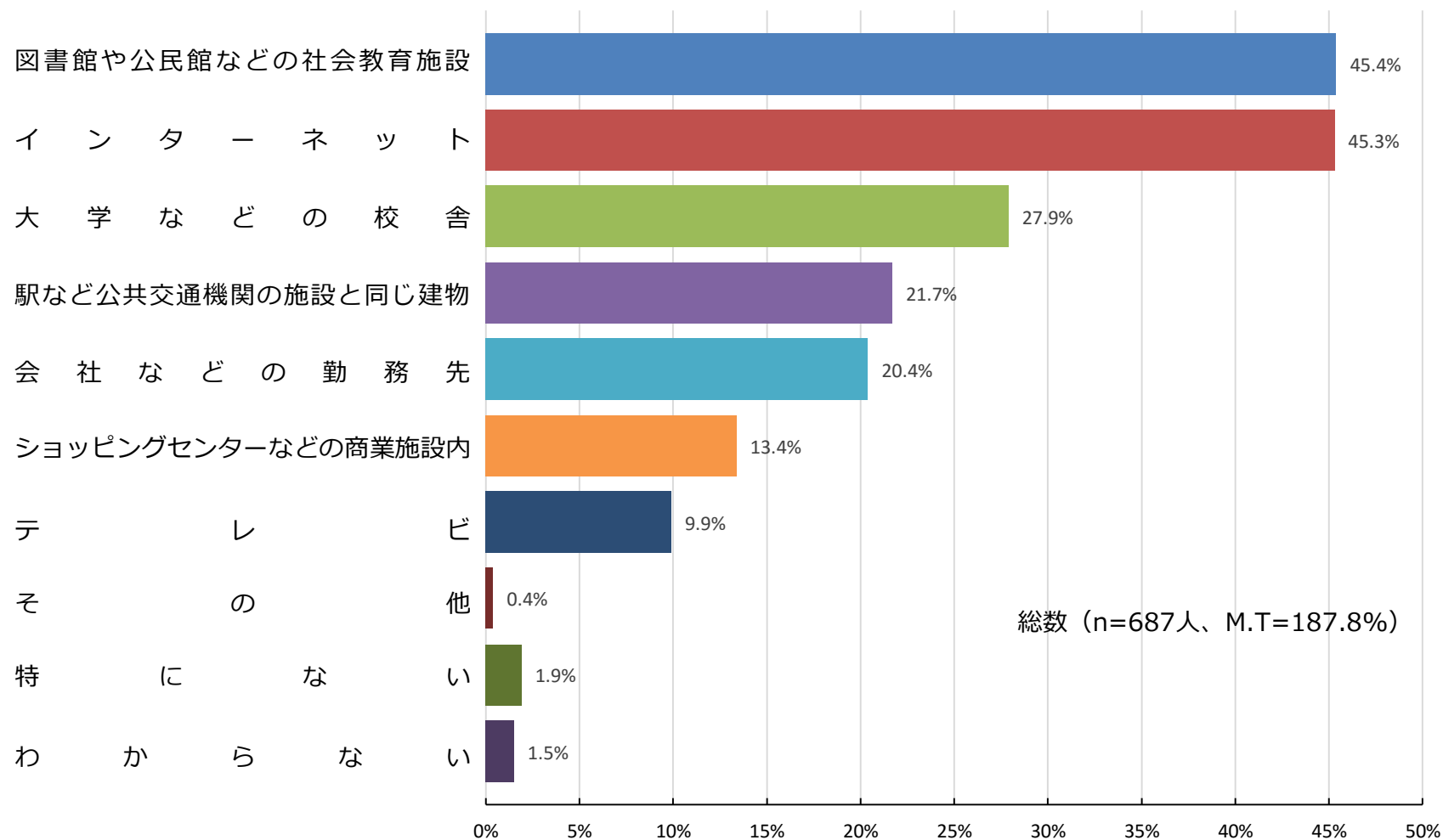
(9) 適当な学習量・講座の提供場所 (問4更問2・更問3関係) (1)

更問2 (問4で「学習したことがある(現在学習している)、学習してみたい(小計)」、「まだ在学中であり、社会人となった経験が無い」、「その他」と答えた方(687人)に)
これから社会人として大学などで学ぶとすれば、どの程度の期間や頻度が適当だと思いますか。
この中から1つだけお答えください。



(9) 適当な学習量・講座の提供場所（問4更問2・更問3関係）（2）

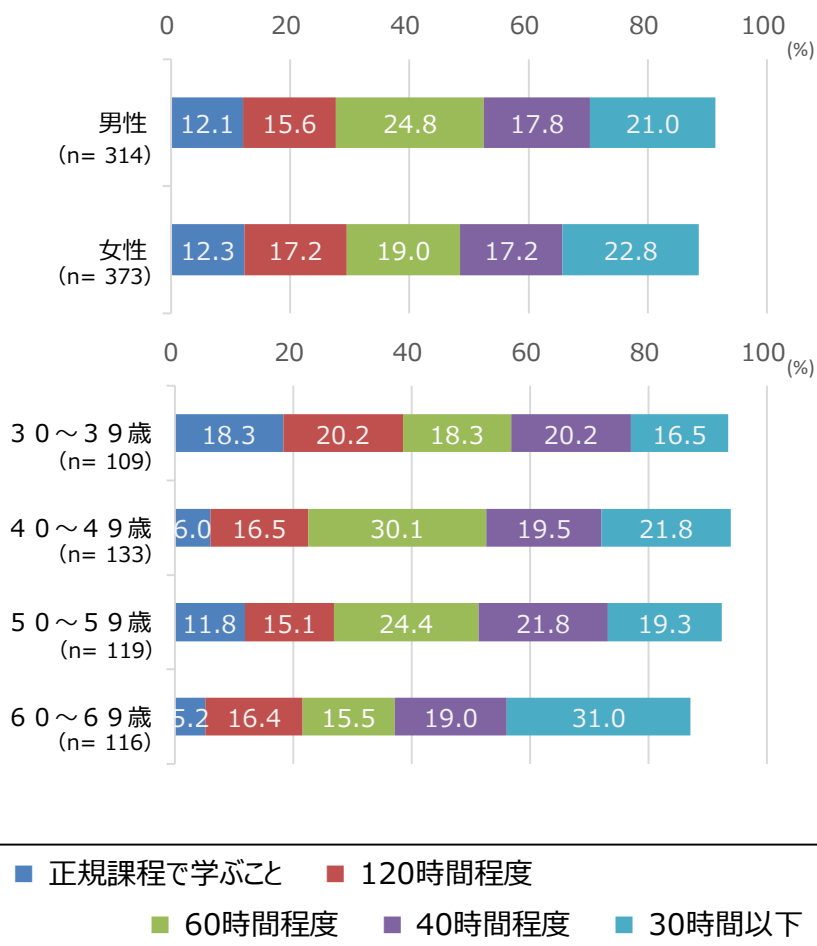
更問3（問4で「学習したことがある（現在学習している）、学習してみたい（小計）」、「まだ在学中であり、社会人となった経験がない」、「その他」と答えた方（687人）に）
これから社会人として大学などで学ぶとすれば、どこで講座が開講されると学習しやすいと思いますか。この中からいくつかもあげてください。



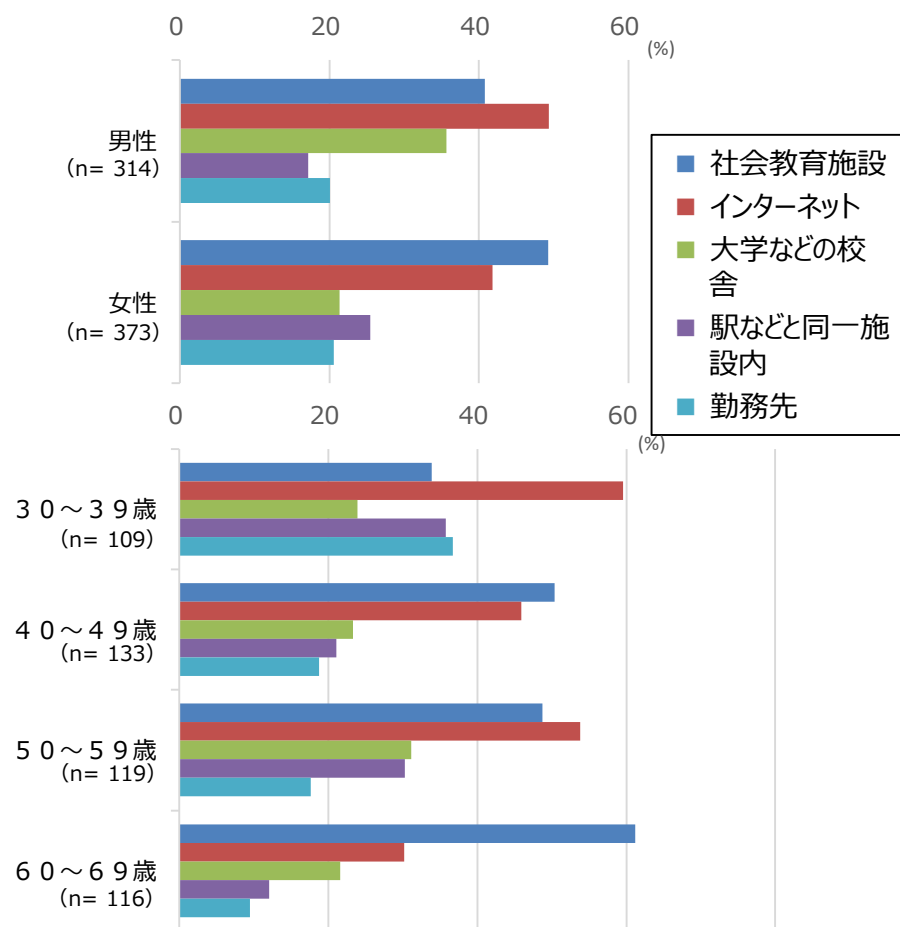
(9) 適当な学習量・講座の提供場所 (問4更問2・更問3関係) (1)

- ・大学などでの適当な学習量は、男性、40代を中心に「60時間程度」の割合が多い。
- ・大学などの講座の提供場所は、女性、60代では「社会教育施設」の割合が最も多く、男性、30代では「インターネット」の割合が最も多い。

(9)-1 男女別・年代別「適当な学習量」

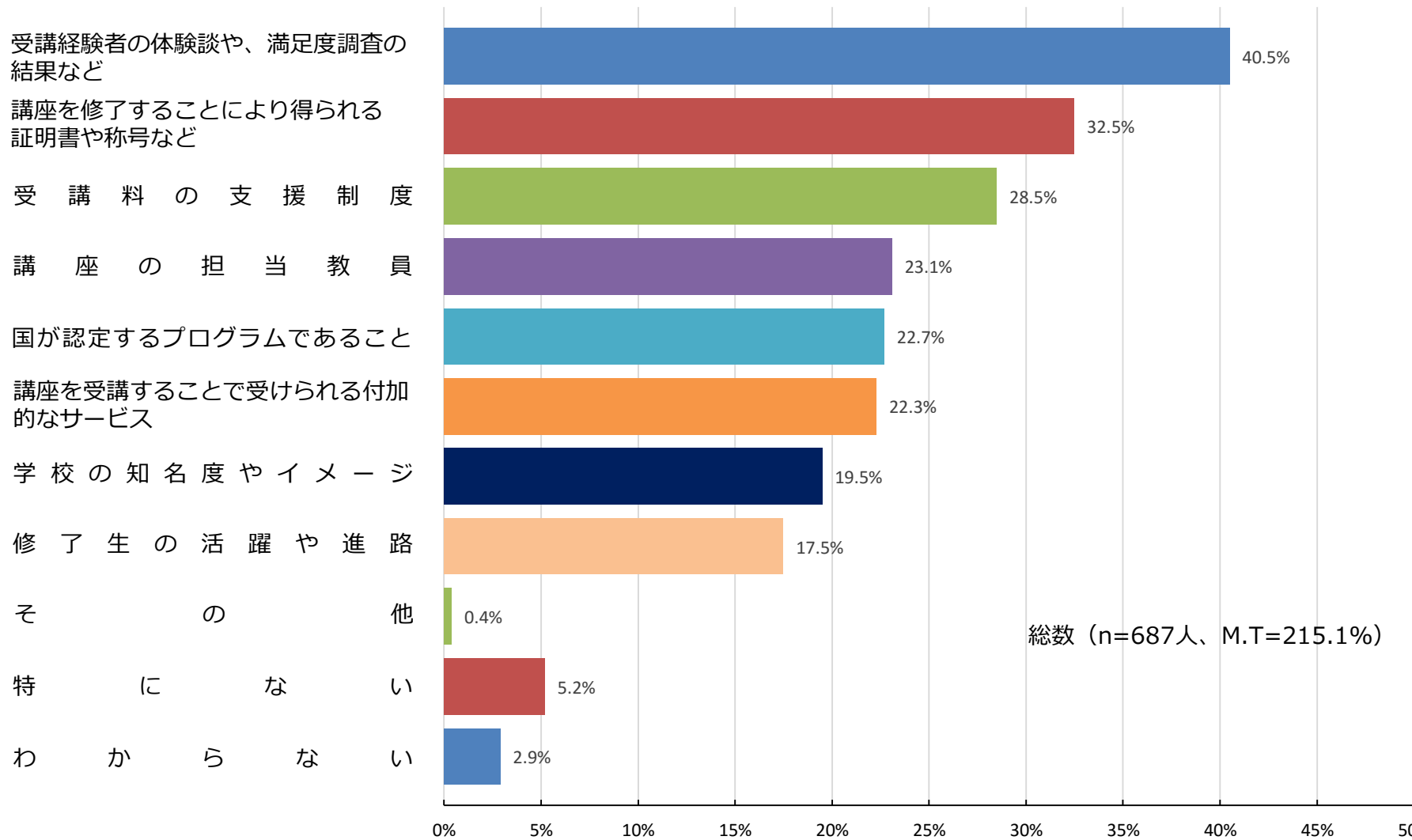


(9)-2 男女別・年代別「講座の提供場所」



(10) 重視する情報 (問4更問4関係) (1)

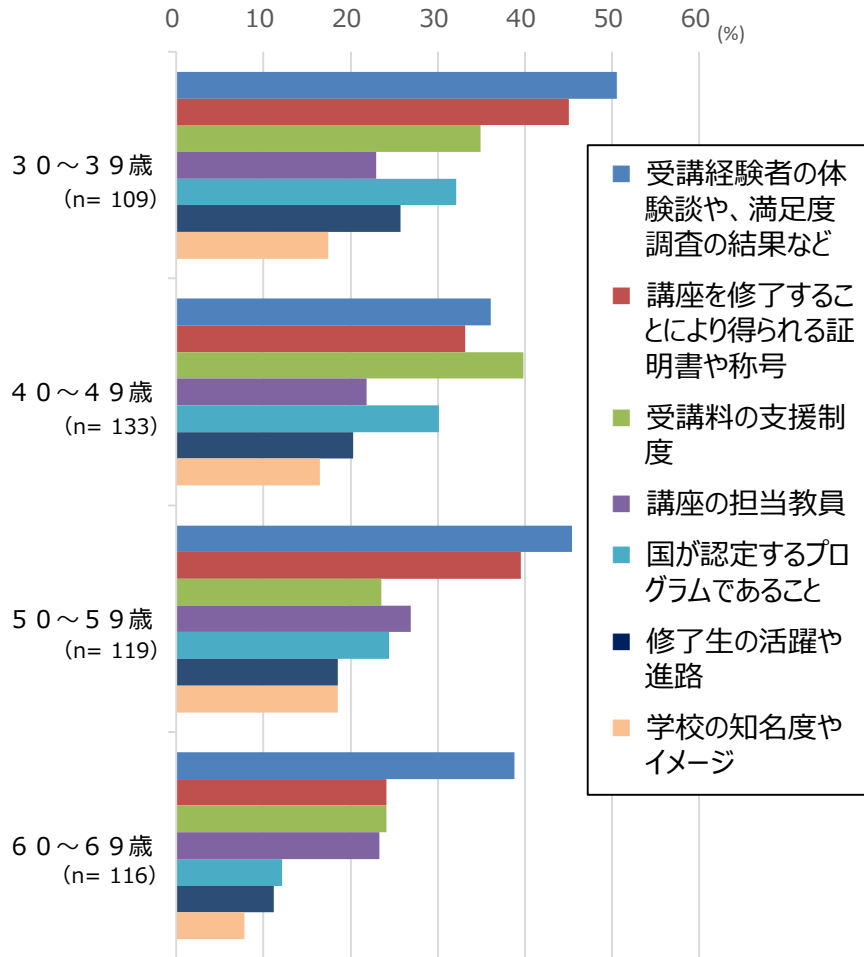
更問4 (問4で「学習したことがある(現在学習している)、学習してみたい(小計)」、「まだ在学中であり、社会人となった経験が無い」、「その他」と答えた方(687人)に)
これから学ぼうとする大学などの情報収集を行う際、どのような情報を重視しますか。この中からいくつかもあげてください。(複数回答)



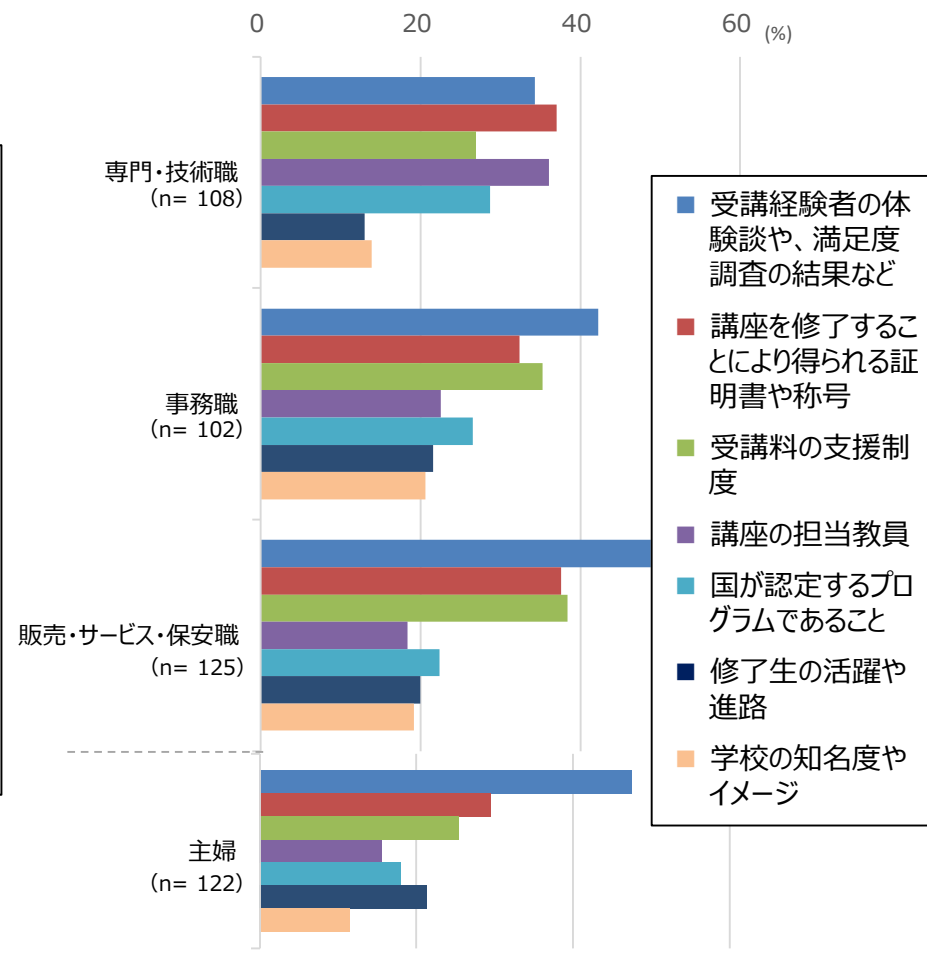
(10) 重視する情報 (問4更問4関係) (2)

- ・大学などの情報収集で重視する情報は、「体験談や満足度調査の結果」「講座修了時に得られる証明書や称号」に加え、30代～40代では「受講料の支援制度」や「国が認定するプログラム」の割合が多い。
- ・職種別では、専門・技術職で「講座の担当教員」の回答が多い。

(10)-1 年代別「重視する情報」

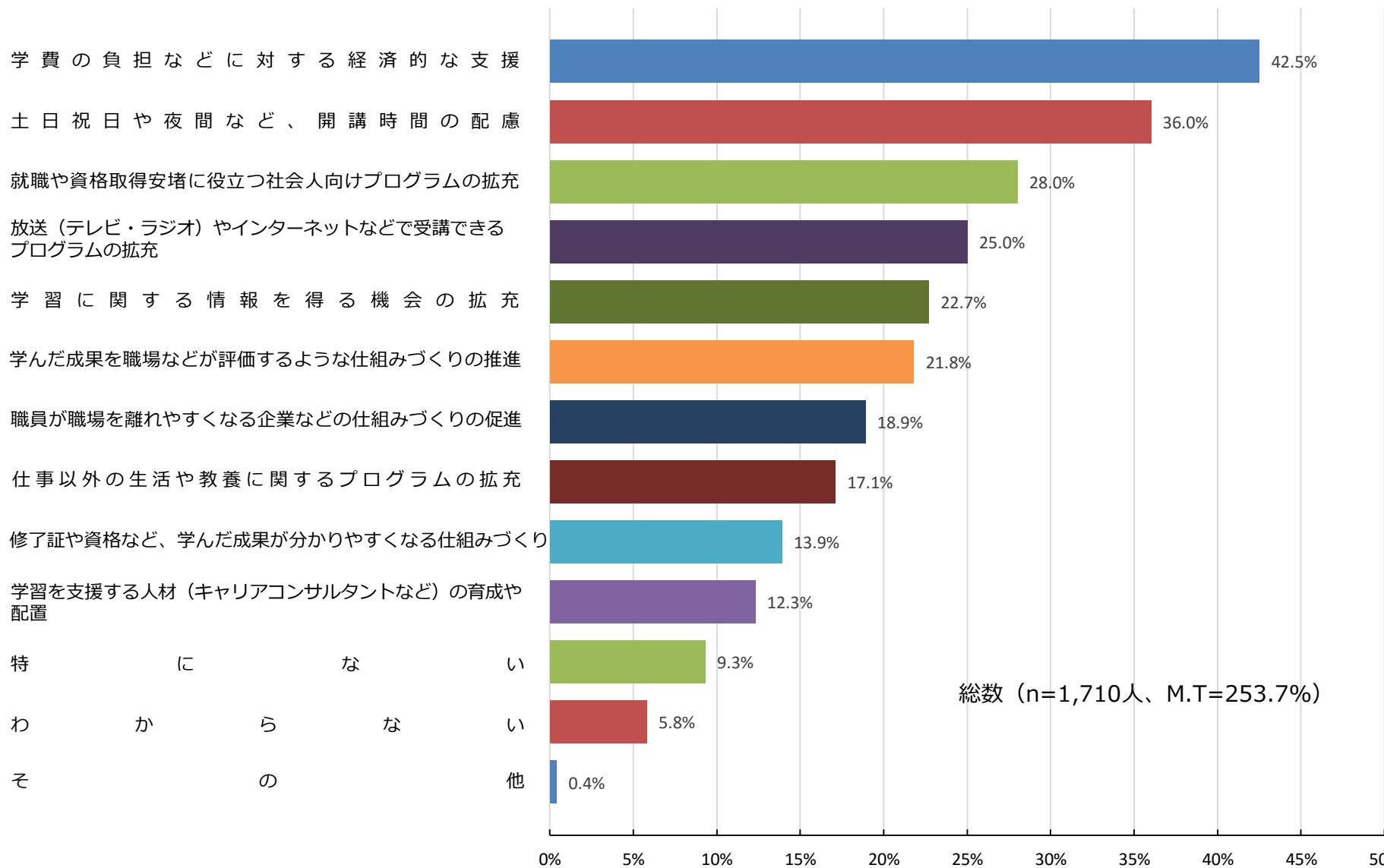


(10)-2 職種別「重視する情報」



(11) 大学などでの学習の推進方法 (問5関係) (1)

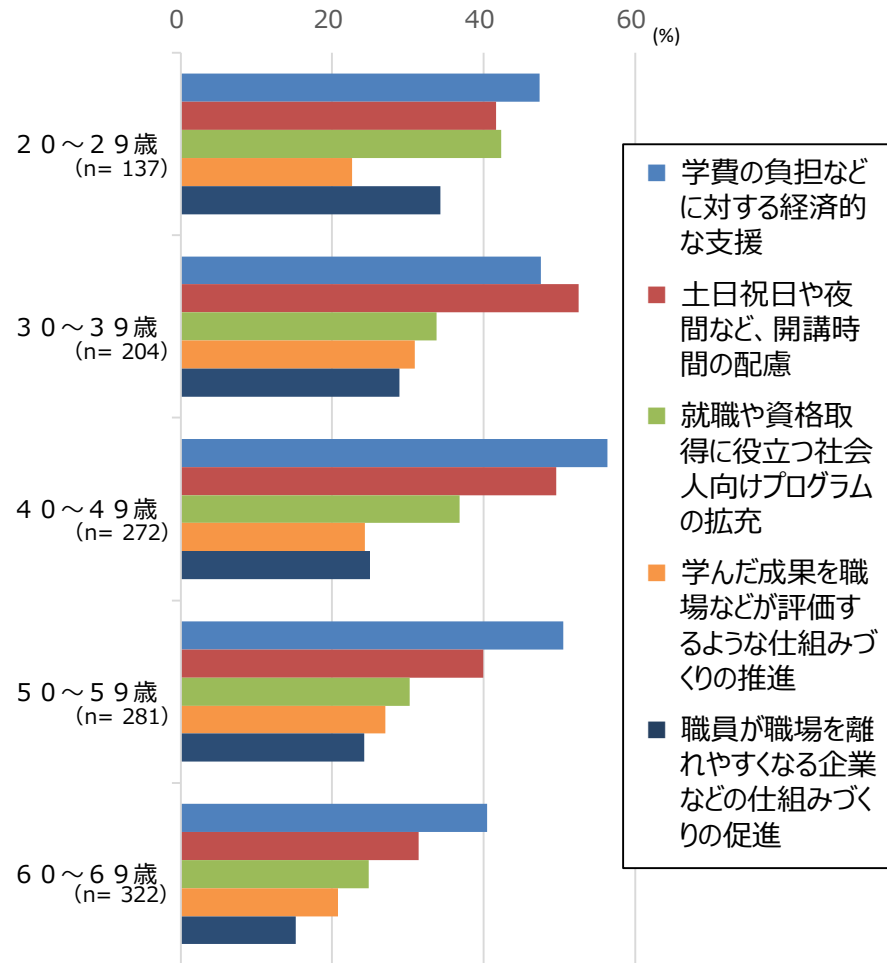
問5 社会人が大学などで学習しやすくするためには、どのような取組が必要だと思いますか。
この中からいくつでもあげてください。(複数回答)



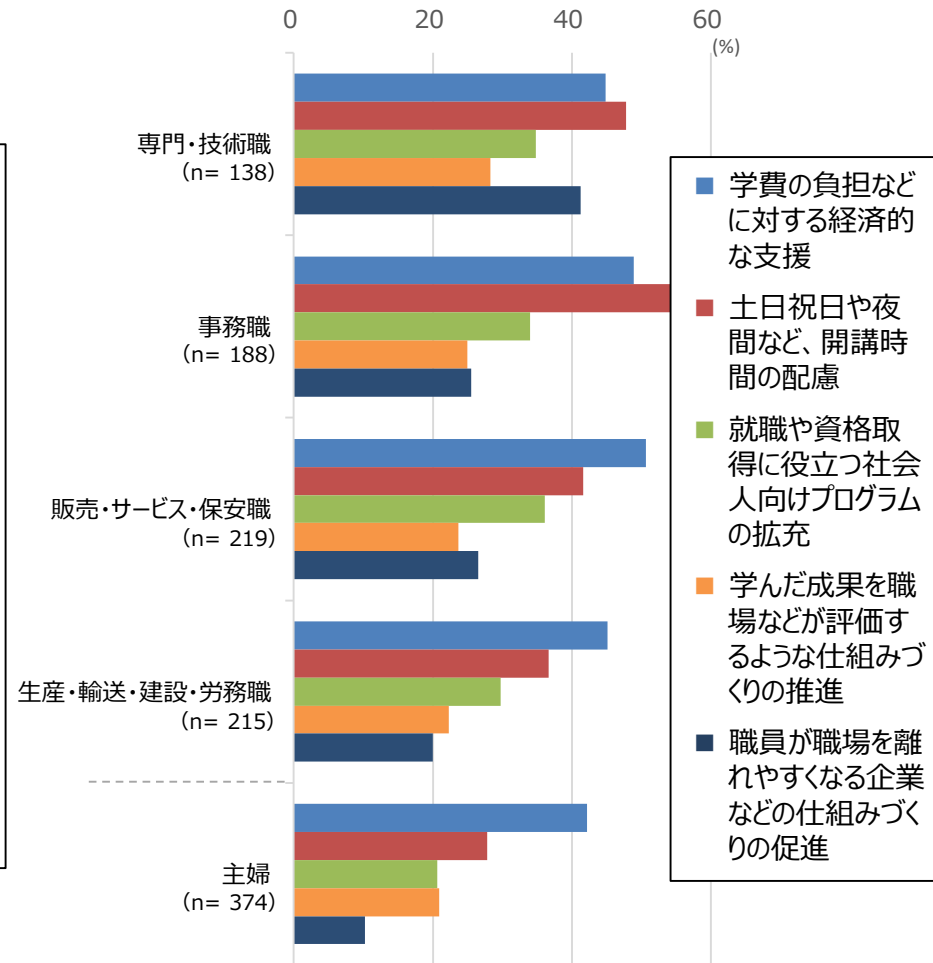
(1 1) 大学などでの学習の推進方法 (問 5 関係) (2)

- ・社会人が大学などで学習しやすくするための取組については、「学費負担などの経済的支援」が多いが、30代は「開校時間の配慮」が最多。20代では「職場を離れやすくなる企業などの仕組みづくり」の割合も多い。
- ・雇用者の専門・技術職は、他の職に比べて「職場を離れやすくなる企業などの仕組みづくり」の割合が多い。

(1 1)-1 年代別「大学などでの学習の推進方法」



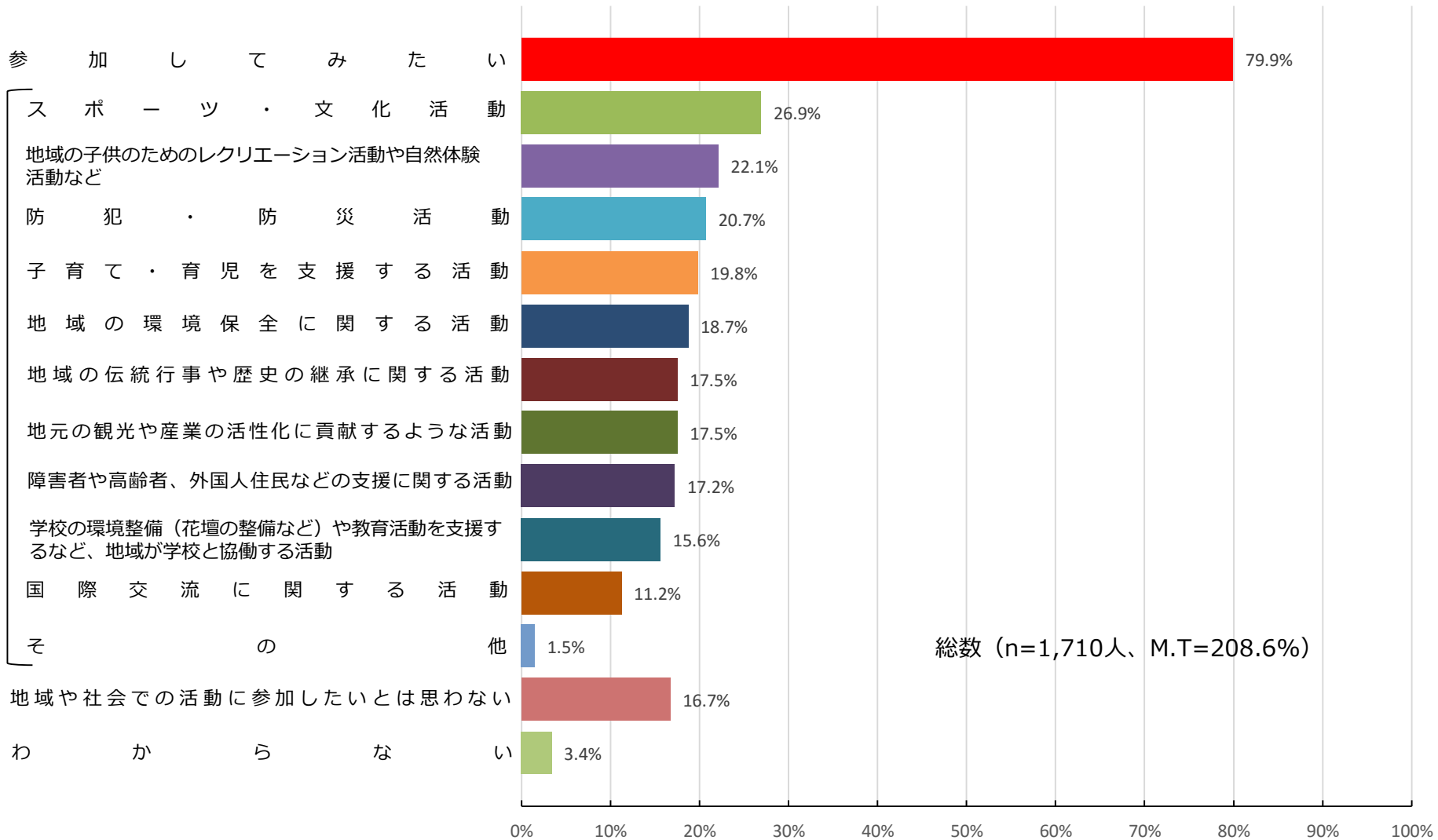
(1 1)-2 雇用者職種別「大学などでの学習の推進方法」



3 地域や社会での活動に対する考え方について

(12) 地域社会での活動への参加意欲 (問6 関係) (1)

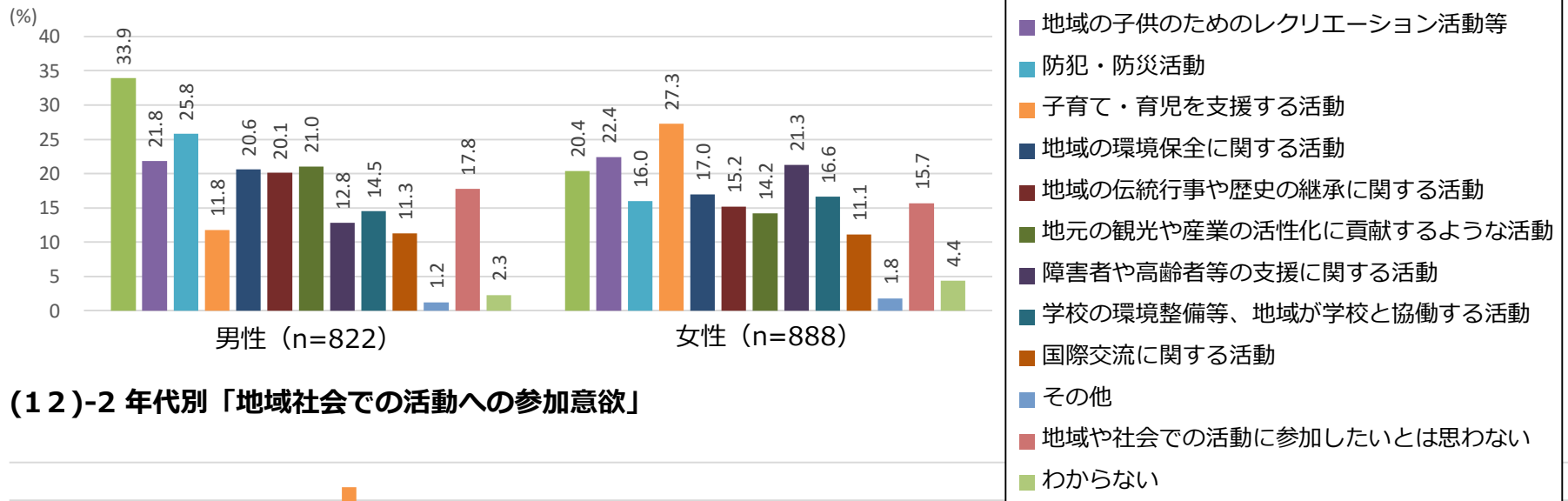
**問6 あなたは、地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか。
この中からいくつでもあげてください。(複数回答)**



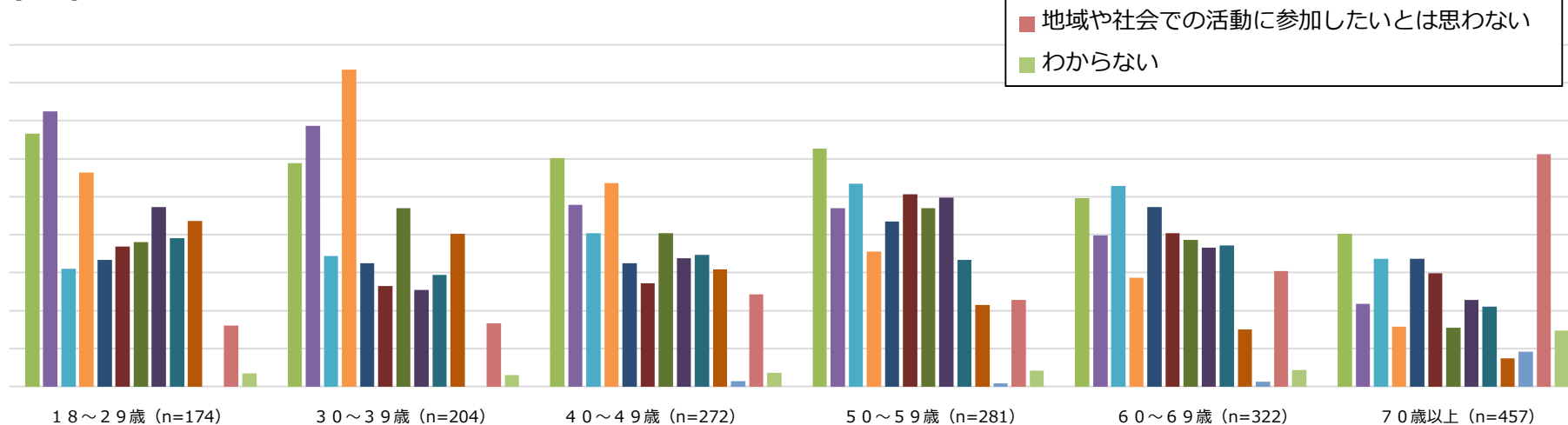
(12) 地域社会での活動への参加意欲 (問6 関係) (2)

- ・ **地域社会での活動への参加意欲**として、男性では「スポーツ・文化活動」の割合が最も高く、女性では「子育て・育児を支援する活動」の割合が最も高い。
- ・ 年代が上がるほど「地域や社会での活動に参加したいとは思わない」との回答が増加する傾向にある。
- ・ 若い年代では「地域の子供のためのレクリエーション活動」や「子育て・育児を支援する活動」など、子供に関係する活動への関心が高い。

(12)-1 男女別「地域社会での活動への参加意欲」

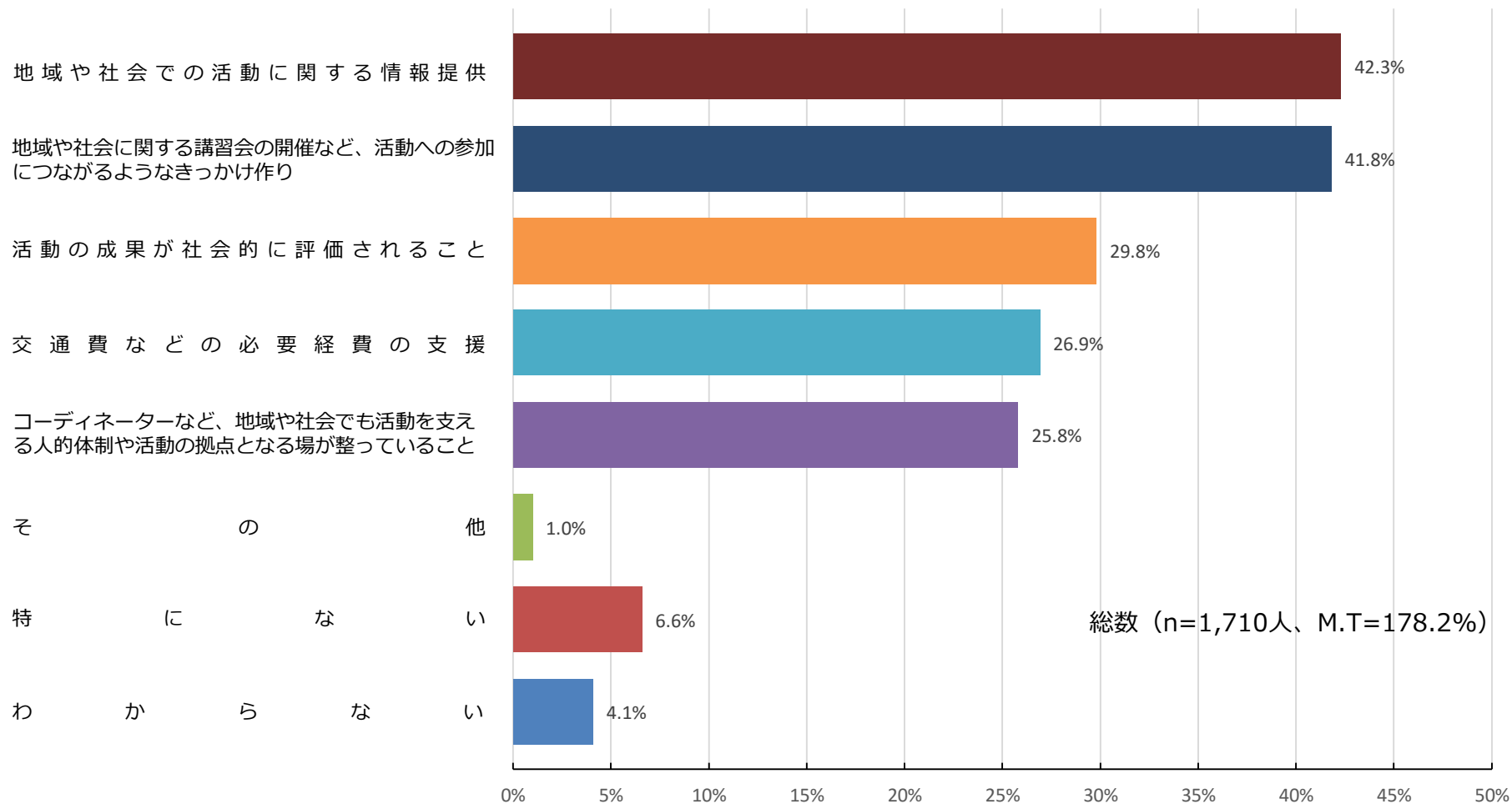


(12)-2 年代別「地域社会での活動への参加意欲」



(12) 地域社会での活動への参加を促す方策（問7関係）（1）

問7 多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

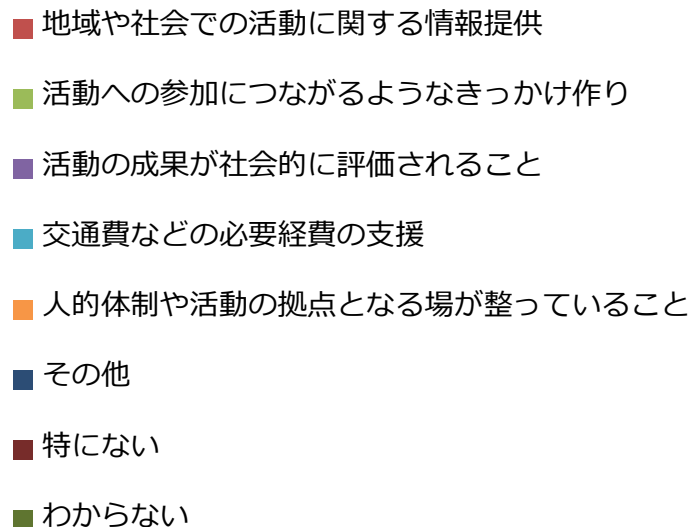
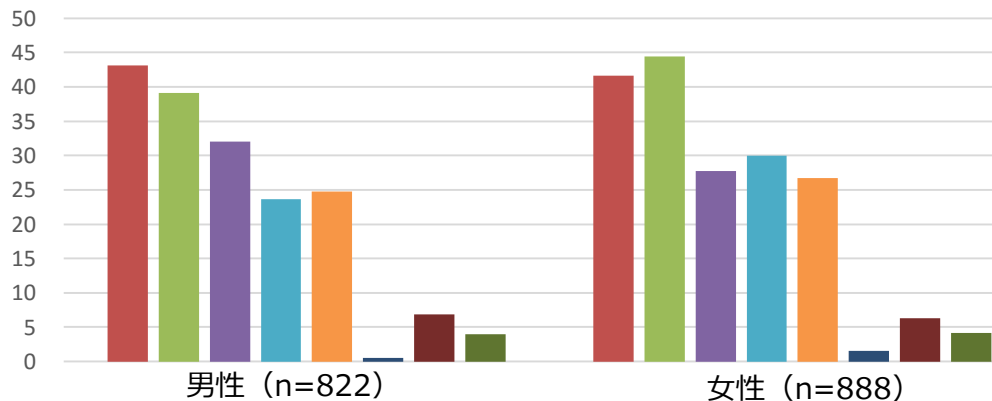


(12) 地域社会での活動への参加を促す方策（問7関係）（2）

・男女、各年代とも「地域や社会での活動に関する情報提供」や「活動への参加につながるようなきっかけ作り」の割合が多く、活動のきっかけがつかめない様子が見られる。

(12)-1 男女別「地域社会での活動への参加促進方策」

(%)



(12)-2 年代別「地域社会での活動への参加促進方策」

(%)

